Ⅳ　自然科学的分析

1　珪藻分析によって得られた縄文時代晩期の頃の古環境

岩倉城遺跡90B区の縄文時代晩期における堆積環境を考えるために平面サンプルを採取し、珪藻分析を実施した。

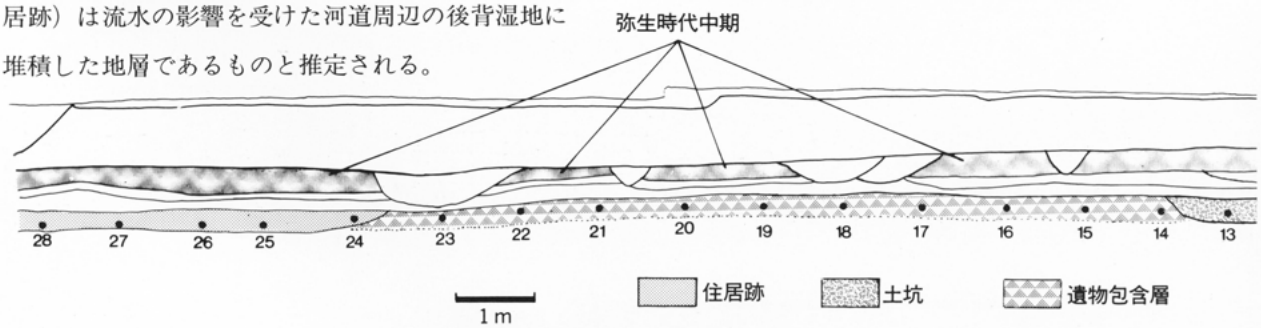
ここでは、住居跡や土坑および遺物包含層などの違いにより出現珪藻がどのように変化するかを調査することを目標に、同時代の地層中から平面的に計28サンプルを採取した。試料５・６は土坑、７～９および24～28は住居跡である。それ以外は縄文時代晩期の遺物包含層である。分析試料の層相はいずれも細砂混じりの黒灰色腐植質シルト層であり、標高は28サンプルともに＋7.40m前後であった。サンプルの採取位置は第106図に示したとおりである。分析および検鏡方法は森（1989）によった。

試料７・８をのぞく26サンプルでは、ほとんど珪藻殻が出現しなかった。わずかに見いだされた珪藻は大部分が破損し、他の場所から運び込まれた二次化石であると推定される。　試料７～９における主な出現珪藻は第２表のとおりである。出現種教は３試料で計18属29種であった。比較的多くの珪藻殻片が認められた試料７・８においても１プレパラートあたり50個体ほどの出現数であったが、次のような傾向がみられた。

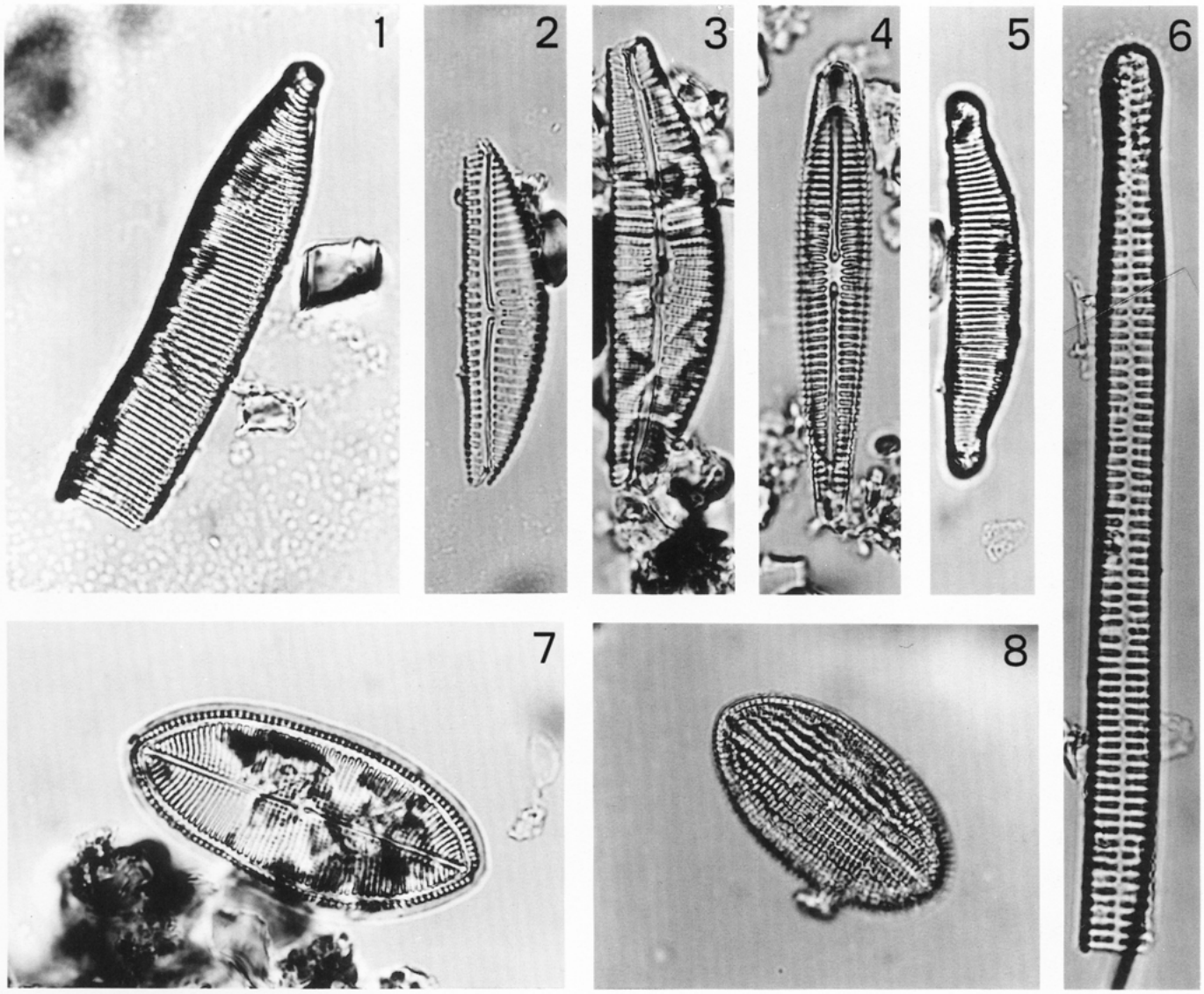
好アルカリ～ｐＨ不定性で付着生種の*Cymbella turgidula*、*Synedra ulna*、*Cocconeis placentula*およびその変種の*C. placentula* var. *euglypta*などが比較的多く出現した。これらの珪藻はいずれも河川や池沼などの挺水植物や浮葉植物に付着して生活する好流水性の種群である。分析試料中の珪藻殻は破損しているものも認められたが、他の試料に比べれば珪藻の保存状態は良い。以上のことから試料７～９（住居跡）は流水の影響を受けた河道周辺の後背湿地に堆積した地層であるものと推定される。

Species	7	8	9
Achnanthes linearis W. SMITH	3		
Ceratoneis arcus KÜTZING		2	
Cocconeis placentula EHRENBERG	3		
Cocconeis placentula var. *euglypta* (EHR.) CLEVE	1	8	
Cymbella tumida (BREB.) V. HEURCK		1	
Cymbella turgidula GRUNOW	5	16	
Diatoma vulgare BORY	1		
Epithemia zebra (EHR.) KÜTZING	1	1	1
Eunotia flexuosa KÜTZING	1		1
Eunotia formica EHRENBERG	1		
Eunotia pectinalis (KÜTZ.) RABENHORST	4	1	
Fraglaria construens (EHR.) GRUNOW	1		
Fragilaria virescens RALFS	1		
Frustulia rhomboides (EHR.) De TONI		1	
Gomphonema angustatum (EHR.) RABENHORST	1		
Gomphonema clevei FRICKE	7		
Gomphonema intricatum KÜTZING		1	
Gomphonema parvulum (KÜTZ.) KÜTZING	4		
Hantzschia amphioxys (EHR.) GRUNOW		4	
Melosira ambigua (GRUN.) O. MÜLLER	3	4	
Melosira granulata (EHR.) RALFS			1
Navicula goeppertiana (BLEISCH) H. L. SMITH	1		
Opephora martyi HERIBAUD			1
Pinnularia borealis EHRENBERG	1		
Pinnularia hemiptera (KÜTZ.) CLEVE	1		
Rhoicosphenia curvata (KÜTZ.) GRUNOW	3		
Synedra ulna (NITZ.) EHRENBERG	14	5	
Synedra vaucheriae KÜTZING	4		
Tabellaria floccluosa (ROTH) KUTZING	1		
TOTAL	62	44	4

第２表　岩倉城遺跡90B区における珪藻分析結果



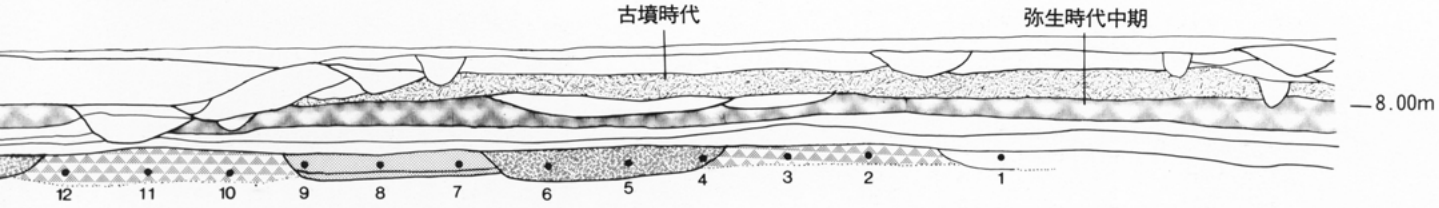
第106図　珪藻分析試料の採取位置図



第107図　岩倉城遺跡産の珪藻遺骸の顕微鏡写真　（森　勇一・前田弘子）

1 *Hantzschia amphioxys*
2 *Cymbella minuta*
3 *Cymbella turgidula*
4 *Rhoicosphenia curvata*
5 *Eunotia pectinalis*
6 *Synedra ulna*
7 *Cocconeis placentula*
8 *Cocconeis placentula* var. *euglypta*

（倍率は約1200倍）



2　岩倉城遺跡出土駿河系土器の胎土分析結果

1　方　法

分析の方法は、実体顕微鏡観察と偏光顕微鏡観察である。ただし、今回は同遺跡出土の比較試料がないため、これまでに濃尾平野で得られている結果を基礎データとする。また、考古学的に関連が考えられる静岡県の土器胎土との比較は、地質からの推測による。

2　分析結果

主要造岩鉱物の三角ダイヤグラムを第108図に示す。この結果を阿弥陀寺遺跡(西春日井郡甚目寺町)の試料から得られた領域（実線）と比較すると、岩倉城遺跡が阿弥陀寺遺跡より上流の、やや東よりに位置するが、ほぼ同じ領域を示した。分析を行った駿河系土器の胎土は、濃尾平野低湿地遺跡の土器胎土と同じ傾向を示すといえる。偏光顕微鏡下での観察においても、主要造岩鉱物に加え、チャート・輝石などが含まれており、濃尾平野西部（阿弥陀寺遺跡・朝日遺跡など）の土器胎土中の砂礫の組合せによく似ている。特に輝石のうち、ピジョン輝石が含まれるものは、阿弥陀寺遺跡の土器にも見られた。長良川最上流部周辺地域に分布する火山岩には、ピジョン輝石が含まれていることが報告されており、これとの関係も考えられる。

静岡県駿河地域では、大井川から阿部川にかけての地域には中生代から新生代古第三紀の堆積物が露出し、富士川以東に富士山による噴出物が分布する。その間を埋めるように新生代新第三紀堆積物が清水平野を形成している。このことを考えればチャート以外の堆積岩や火山岩類の岩片が多く含まれないこの試料の胎土は、静岡県駿河地域との関わりは考えにくい。

第108図　主要造岩鉱物三角ダイヤグラム

以上のことよりこの試料は、形式の点では他地域の影響を受けているものの胎土は濃尾平野産であるものと思われる。ただし、阿弥陀寺・朝日両遺跡の土器に比べると、特に偏光顕微鏡下での輝石の比率が低く、傾向の違いがある。このことは遺跡の位置に関係し、岩倉城遺跡が木曽川の扇状地と庄内川によるそれとのちょうど境界付近にあたることによるものと思われる。ピジョン輝石が含まれることは、河道の変遷により、ある時代には遺跡周辺が長良川による影響を受けたことを示すかもしれない。濃尾平野発達史との検討を要する。

（永草康次）

3　岩倉城遺跡から出土した木製品の樹種

1．試料

岩倉城遺跡は、岩倉市を流れる五条川右岸の自然堤防上に立地する。遺跡は、戦国時代の岩倉城跡を中心とするが、弥生時代～鎌倉・室町時代の遺構も検出されている。試料は、岩倉城の内堀と思われる溝ＳＤ03をはじめ戦国時代のものと思われる各遺構から出土した木製品36点で、中には呪符木簡や地蔵菩薩等珍しいものもあった。各木製品の用途は表１に示した。

岩倉城は織田敏広が築城したといわれる戦国時代初期の城で、1559年織田信長によって落城し、以後廃城となった。

2．方法

剃刀の刃を用いて、試料の木口・柾目・板目の３断面の徒手切片を作製、ガム・クロラールで封入し、生物顕微鏡で観察・同定した。

3．結果

同定結果を表１に示す。試料の中には劣化が激しく同定できなかったものや類似種としたものもあるが、35点の試料が７種類に同定された。試料の細胞額的特徴や現生種の一般的な性質を以下に記す。なお、一般的な性質については平井（1979～1982）を参考にした。

・スギ（*Cryptomeris japonica*）　　スギ科

早材部から晩材部への移行はやや急で、晩材部の幅は比較的広く、年輪界は明瞭。樹脂細胞はほぼ晩材部に限って認められ、樹脂道はない。放射仮道管はなく、放射柔細胞の壁は滑らか、分野壁孔はスギ型で２～４個。放射組織は単列、１～15細胞高。

スギは、本州・四国・九州に自生する常緑高木で、また各地で植栽・植林される。国内では植林面積第一位の重要樹種であり、長寿の木としても知られる。材は軽軟で割裂性は大きく、加工は容易、保存性は中程度である。建築・土木・樽桶類・舟材など各種の用途がある。樹皮は屋根葺用とされ、葉は線香・抹香の原料にもなる。

・ヒノキ属の一種（*Chamaecyparis sp.*）　　ヒノキ科

早材部から晩材部への移行は緩やか～やや急で、晩材部の幅は狭く、年輪界は明瞭。樹脂細胞は晩材部に限って認められ、樹脂道はない。放射仮道管はなく、放射柔細胞の壁は滑らか、分野壁孔はヒノキ型で１～４個。放射組織は単列、１～15細胞高。今回の調査では以上の特徴が全て観察できない試料があった。そのような試料はヒノキ属類似種として表記した。

ヒノキ属には、ヒノキ（*Chamaecyparis obtusa*）とサワラ（*C.pisifera*）の２種がある。

ヒノキは本州（福島県以南）・四国・九州に分布し、また各地で植栽される常緑高木で、国内ではスギに次ぐ植林面積を持つ重要樹種である。材はやや軽軟で加工は容易、割裂性は大きいが、強度・保存性は高い。建築・器具材など各種の用途が知られている。サワラは本州（岩手県以南）・九州に自生し、また植栽される高木で多くの園芸品種がある。材は軽軟で割裂性は大きく、加工も容易、強度的にはヒノキに劣るが耐水性が高いため、樽や桶にするほか各種の用途がある。

・ブナ属の一種（*Fagus sp.*）　　ブナ科

散孔材で、管孔は単独または放射方向に２～３個が複合、横断面では多角形、管壁厚は中庸～薄く、分布密度は高い。道管は単および段階穿孔を有し、階段穿孔の段（bar）数は10前後、壁孔は大型で対列状～階段状に配列、放射組織との間では網目状となる。放射組織は同性～異性Ⅲ型、単列、数細胞高のものから複合組織まである。柔組織は短接線状および散在状。年輪界は明瞭～やや不明瞭。

ブナ属には、ブナ（*Fagus crenata*）とイヌブナ（*F. japonica*）の２種がある。ブナは北海道南西部（黒松内低地帯以南）・本州・四国・九州に、イヌブナは本州（岩手県以南）・四国・九州の主として太平洋側に分布する。イヌブナのほうがブナより低標高地から生育し、またブナのような大群落をつくることはない。ブナは、日本の冷温帯落葉樹林を代表する樹木で、かつては東日本の山地に広く生育していたが、近年、植林などによって生育地が激減している。材はやや重硬で、強度は大きいが加工はそれほど困難ではなく、耐朽性は低い。木地・器具・家具・薪炭材などの用途があったが、最近では各種の用途に用いられている。また種子は食用となり、搾油される。

・コナラ属コナラ亜属クヌギ節の一種（*Quercus subgen. Lepidobalanus sect. Cerris sp.*）
ブナ科

環孔材で孔圏部は１～３列、孔圏外で急激に管径を減じのち漸減しながら放射状に配列する。大道管は管壁は厚く、横断面では円形、小道管は管壁は中庸～厚く、横断面では角張った円形、ともに単独。単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列、放射組織との間では柵状となる。放射組織は同性、単列、１～20細胞高のものと複合組織よりなる。柔組織は周囲状および短接線状。柔細胞はしばしば結晶を含む。年輪界は明瞭。

クヌギ節は、コナラ亜属（落葉ナラ類）の中で、果実（いわゆるドングリ）が２年目に熟するグループで、クヌギ（*Quercus acutissima*）とアベマキ（*Q. variabilis*）の２種がある。クヌギは本州（岩手・山形県以南）・四国・九州に、アベマキは本州（山形・静岡県以西）・四国・九州（北部）に分布するが、中国地方に多い。クヌギは樹高1.5mになる高木で、材は重硬である。古くから薪炭材として利用され、人里近くに萌芽林として造林されることも多く、薪炭材としては国産材中第一の重要材である。このほかに器具・杭材・椙木などの用途が知られる。樹皮・果実はタンニン原料となり、果実は染料・飼料ともなった。ア

ベマキはクヌギによく似た高木で、樹皮のコルク層が発達して厚くなる。材質はクヌギに似るが、さらに重い。用途もクヌギと同様であるが、樹皮が厚いため薪材にはむかず、炭材としてもクヌギ・コナラより劣るとされる。

・ケヤキ類似種（cf. *Zelkova serrata*）　　ニレ科

環孔材で孔圏部は１～２列、孔圏外で急激に管径を減じのち漸減、塊状に複合し接線・斜方向の紋様をなす。大道管は管壁は厚く、横断面では円形～楕円形、単独、小道管は管壁厚は中庸～薄く、横断面では多角形で複合管孔をなす。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列、小道管内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は異性Ⅲ型、１～10細胞幅、１～30細胞高である。柔組織は周囲状。年輪界はやや不明瞭。

ケヤキは本州・四国・九州の谷沿いの肥沃地などに自生し、また屋敷林や並木として植栽される落葉高木で、時に樹高50mにも達する。材はやや重硬で、強度は大きいが、加工は困難でなく、耐朽性が高く、木理が美しい。建築・造作・器具・家具・機械・彫刻・薪炭材など各種の用途が知られ、国産広葉樹材の中で最良のものの一つに上げられる。

・トチノキ（*Aesulus turbinata*）　　トチノキ科

散孔材で管壁は厚く、横断面では角張った楕円形、単独または２～３（５）個が複合する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列、放射組織との間では網目状～篩状となり、内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は同性、単列、１～15細胞高で階層状に配列し、肉眼ではリップル・マークとして認められる。柔組織はターミナル状。年輪界はやや不明瞭。

トチノキは北海道（南西部）・本州・四国・九州の主として谷沿いの肥沃地に生育する落葉高木で、東北地方に多く九州には少ない。材は軽軟で、加工・乾燥が容易で、耐朽性は小さい。器具・家具材や旋作材・木地などに用いられる。種子は澱粉を多く含み食用となるほか、タンニン原料ともなる。

・キリ類似種（cf. *Paulownia tomentosa*）　　ゴムノハグサ科

環孔材であるが孔圏部はやや不明瞭、孔圏外で管径を漸減させる。横断面では角張った円形～楕円形、単独または２～３個が複合する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、１～３細胞幅、１～20細胞高。柔組織は翼状～連合翼状となる。年輪界は明瞭。

キリは中国中部地域原産とされる（九州に自生するという見解もある）落葉高木で、各地に植栽されるが東北・関東地方北部などで良好に生育する。材は国産有用材中最も軽軟で、加工は容易、狂いや割れが少ない。箪笥をはじめとする家具材・各種器具・建具・建築・下駄材など多様な用途が知られている。

4．考察

同定した結果は、スギ類似種２点、ヒノキ属の一種26点（類似種10点）、ブナ属の一種２点、コナラ属コナラ亜属クヌギ節の一種１点、ケヤキ類似種１点、トチノキ２点（類似種１点）、キリ類似種１点、広葉樹（環孔材）１点であった。

表１をみると、最も多かったヒノキ属の一種は様々な用途に用いられていることが分かる。この中でも特に曲物や人形、鳥形は島地・伊東（1988）でヒノキ属の利用が最も多いとされている木製品である。また、小原（1972）は日本各地の仏像の樹種を調べているが、この中の愛知県内の仏像の樹種をみると、ヒノキ属が最も多い結果となっている。ヒノキ属が多用されていることについては入手・加工が容易であることが考えられる。

漆器の樹種は、トチノキ２点、ブナ属の一種１点、ケヤキ類似種１点であった。これらの樹種のうち、ケヤキは島地・伊東（1988）で椀の用材として最も多いとされている樹種である。また、ブナ属、トチノキは県内の清洲城下町遺跡で漆器類に多く用いられていた（パリノ・サーヴェイ株式会社、1990）。これらが使用されたのには、ケヤキは木理の美しさ、ブナ属・トチノキは加工が容易であること等が考えられる。

（パリノ・サーヴェイ株式会社）

文献

平井信二（1979～1982）木の事典　第１巻～第17巻．かなえ書房．

小原二郎（1972）木の文化．鹿島出版会，217p.

パリノ・サーヴェイ株式会社（1990）材質（樹種）同定．「清洲城下町遺跡」，（財）愛知県埋蔵文化財センター調査報告第17集，財団法人愛知県埋蔵文化財センター，p.98-101.

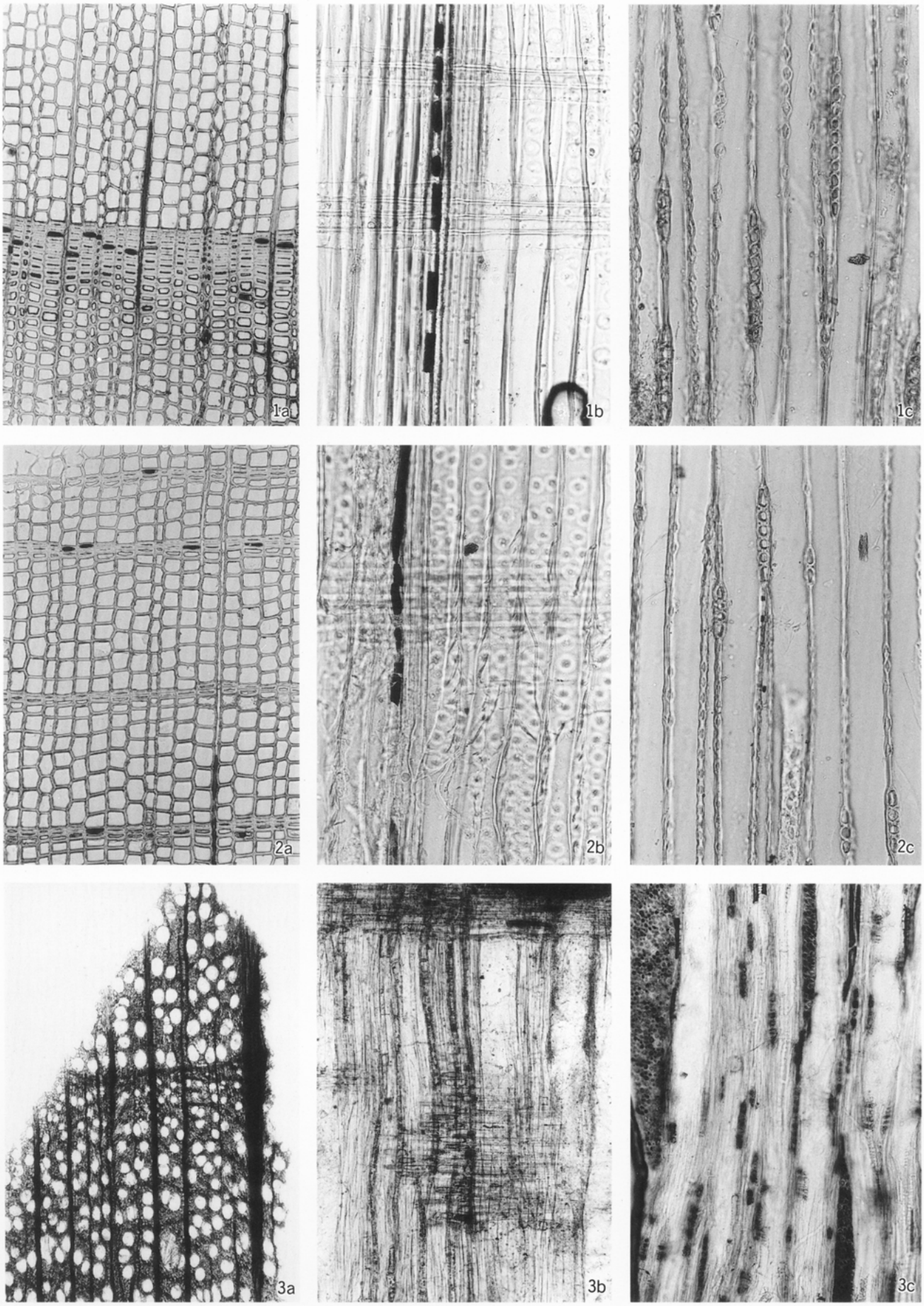
パリノ・サーヴェイ株式会社（1991）江戸時代木製品の材同定．「戸田条里遺跡」，いわき市埋蔵文化財調査報告第29冊，福島県いわき農地事務所・福島県いわき市教育委員会・財団法人いわき市教育文化事業団，p.178-180.

島地　謙・伊東隆夫　編（1988）日本の遺跡出土木製品総覧．雄山閣，259p.

第３表　岩倉城跡から出土した木製品の樹種

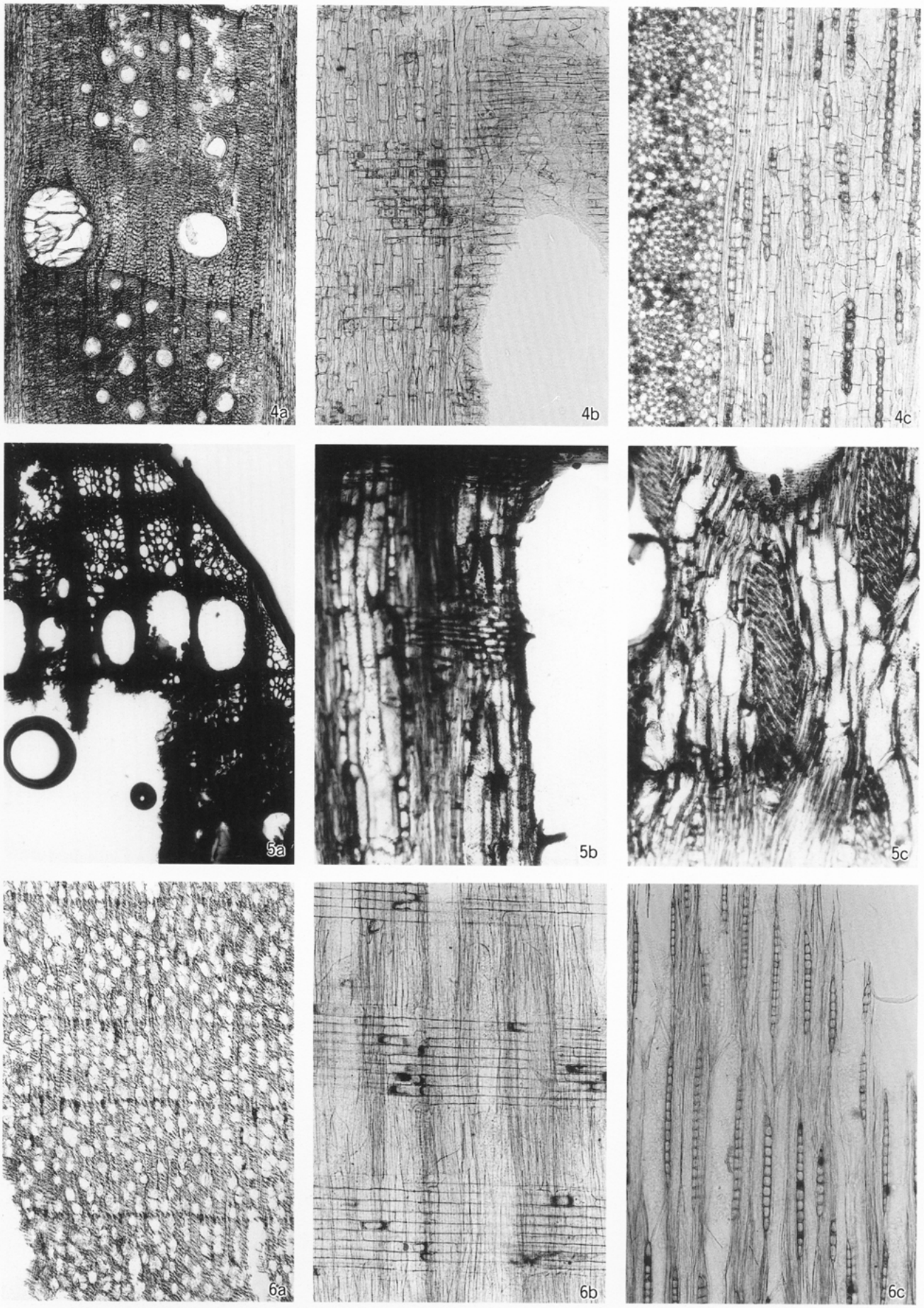
No.	検出遺構など	用　途	樹　種　名
1	63Aa SD01	地蔵菩薩	ヒノキ属の一種
2	62A SD03	人形	ヒノキ属類似種
3	62A SD04	鳥形	ヒノキ属類似種
4	62A SD05	絵馬	ヒノキ属の一種
5	62A SD05	ヘラ	スギ類似種
6	62A SD05	割折敷	ヒノキ属の一種
7	62A SD05	割折敷	ヒノキ属の一種
8	62A SD05	割折敷	ヒノキ属類似種
9	62A SD05	割折敷	ヒノキ属類似種
10	62A SD05	割折敷	ヒノキ属の一種
11	62A SD05	割折敷	ヒノキ属の一種
13	62A SD03	呪符木簡	ヒノキ属の一種
14	62A SD03	人形	ヒノキ属の一種
16	89AB SD07	割折敷	ヒノキ属の一種
17	62A SD03	折敷底板	ヒノキ属の一種
18	62A SD03	折敷（側板）	ヒノキ属の一種
19	62A SD03	折敷（底板）	ヒノキ属類似種
20	62A SD05	曲物	ヒノキ属の一種
21	62A SD03	曲物底板	ヒノキ属の一種
22	62A SD03	柄杓（桶）	ヒノキ属の一種
23	62A SD03	柄杓（柄）	ヒノキ属の一種
24	62A SD03	下駄	ヒノキ属類似種
25a	63Ac SD02上層（明治）	下駄	キリ類似種
25b	63Ac SD02上層（明治）	下駄さし歯	ブナ属の一種
26	62A SD03	桶（側板）	ヒノキ属の一種
27	62A SD05	箸	スギ類似種
28	62A SD03	箸	ヒノキ属類似種
29	62B SB02	礎板	ヒノキ属類似種
30	89F SE04	井戸（側板）	ヒノキ属類似種
31	89F SE04	井戸（柱）	広葉樹（環孔材）
32	62A SD03	漆椀	トチノキ類似種
33	63Aa SD01	漆椀	トチノキ
34	63Ac SD02	漆椀	ブナ属の一種
35	89AB SD06	漆椀	ケヤキ類似種
36	63Ba SD02	倒木	コナラ属コナラ亜属クヌギ節の一種
37	89F SE04	井戸	ヒノキ属類似種

第109図　材の顕微鏡写真



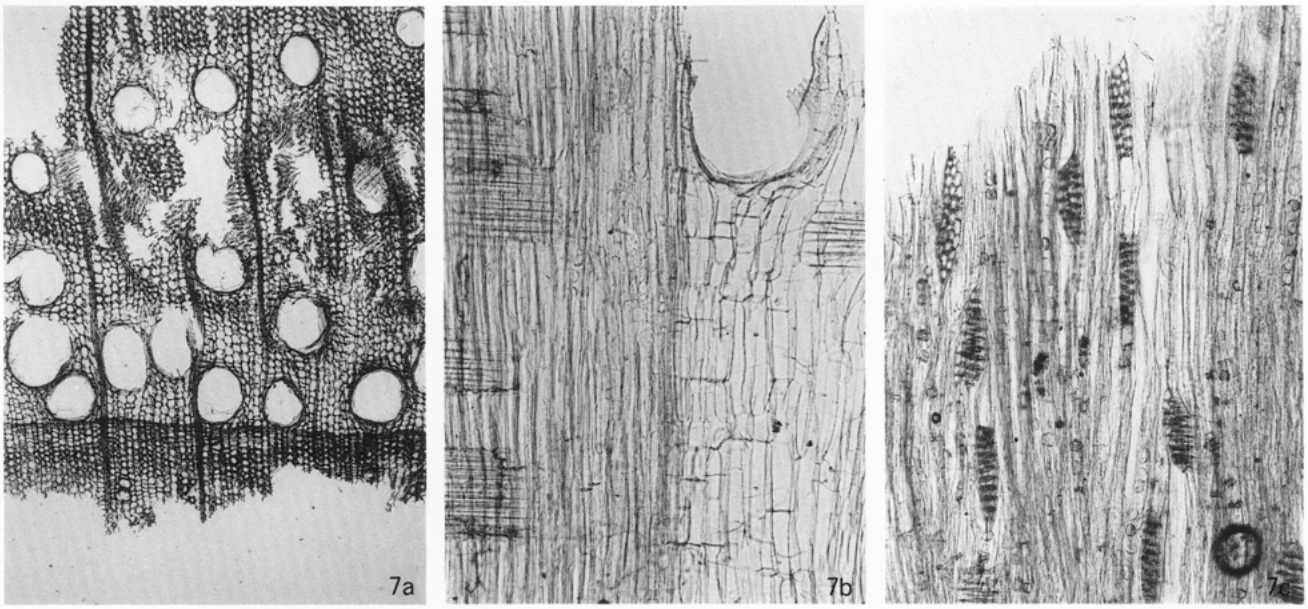
1．スギ類似種（No.5）　a（木口）x77，b（柾目）x154，c（板目）x154
2．ヒノキ属の一種（No.7）　a x77，b x154，c x154
3．ブナ属の一種（No.25b）　a x30，b x77，c x77

第110図　材の顕微鏡写真



4．コナラ属コナラ亜属クヌギ節の一種（No.36）　a x30，b x77，c x77
5．ケヤキ類似種（No.36）　a x30，b x77，c x77
6．トチノキ（No.33）　a x30，b x77，c x77

第110図　材の顕微鏡写真



7．キリ類似種（№25a）　a x30，b x77，c x77

ネガ番号	樹　種　名	試料番号	断面	スケール
2	スギ	5	木口	B
3	スギ	5	柾目	C
4	スギ	5	板目	C
5	ヒノキ属の一種	7	木口	B
6	ヒノキ属の一種	7	柾目	C
7	ヒノキ属の一種	7	板目	C
8	ブナ属の一種	25b	木口	A
9	ブナ属の一種	25b	柾目	B
10	ブナ属の一種	25b	板目	B
11	コナラ属コナラ亜属クヌギ節の一種	36	木口	A
12	コナラ属コナラ亜属クヌギ節の一種	36	柾目	B
13	コナラ属コナラ亜属クヌギ節の一種	36	板目	B
14	ケヤキ類似種	35	木口	A
15	ケヤキ類似種	35	柾目	B
16	ケヤキ類似種	35	板目	B
17	トチノキ	33	木口	A
18	トチノキ	33	柾目	B
19	トチノキ	33	板目	B
20	キリ類似種	25a	木口	A
21	キリ類似種	25a	柾目	B
22	キリ類似種	25a	板目	B
26	スケールA			
27	スケールB			
28	スケールC			

第4表　ネガ説明（材の顕微鏡写真のネガ）

・ネガ倍率は、スケールAが×12.5，Bが×32，Cが×64で、写真図版はネガを 2.4倍（横86㎜）に引き伸ばしたものを使用した。

4　岩倉城遺跡より発見された地震痕について

1　はじめに

日本のような地震多発国では、遺跡調査の過程で地震の痕跡が発見されることも多い。寒川ら（1987・1988a ・1988b ・1990）の努力によって、これまで見過ごされがちだった地震に伴う地変の記録が近年、近畿地方を中心に報告されるようになり、地震の発生時期の推定や地震の規模・その発生の周期など、地震学や防災的な側面のみならず、地震に伴って発生した噴砂（砂脈）の収載な観察によって、地震の新旧関係や考古遺物の編年的な研究に大いに役だっている。（森・鈴木：1989、鈴木：1991）。

1989年度に発掘・調査された岩倉城遺跡（89Ｃ区）では、地震性に伴う小断層が観察されたので報告する。

2　地震の痕跡

岩倉城遺跡は、標高10mの五条川の自然堤防上に立地する戦国時代を中心とした遺跡である。ここでは15世紀前半、織田敏広によって築城されたとされる岩倉城に関連した遺構や遺物が多数出土しており、これら考古学的な成果より遺跡基盤層や遺物を包含する地層の堆積年代が詳細に記録されている。本遺跡では、岩倉城落城後の16世紀前半に堆積した砂およびシルト層を切る小断層（正断層）が確認された。断層の落差は約14cm、その推定延長は 7.4mで、断層面の走向・傾斜はN10°W、80°Eであった。この断層は上部を16世紀以降、江戸時代前期までの遺物を含む地層によって被覆されていることより、地震の発生時期が少なくとも江戸時代前期（17世紀代）までのものと推定することができる。また、この断層には 1.7m隔てた東側に推定延長 5.6mの副断層が伴われており、さらに断層を北側へ17.1m延長したところの基盤砂層には、液状化の痕跡が認められた。

3　推定される地震について

「新編日本被害地震総覧」（宇佐見：1987）および「新収日本地震資料」（東京大学地震研究所編：1982・1984）をもとに、この地域の地層に地変をもたらした可能性のある地震を選び出してみると、東南海（1944年：昭和19年）・濃尾（1891年：明治24年）・天正（1586年：天正13年）および明応（1498年：明応７年）の四つの地震が考えられる。ほかに可能性のある地震として、安政東海（1854年：安政元年）・宝永（1707年：宝永４年）の二地震があげられるが、断層によって変位をうけている地層の堆積年代から考えると、17世紀以降の地震である可能性は考えられない。

その結果、岩倉城遺跡で観察された地震痕は清洲城下町遺跡（西春日井郡清洲町）に大

規模な地割れや噴砂を発生させたことが知られる（森、1989・1991）、天正地震によってもたらされた可能性が極めて高いものと考える。

（森　勇一）

《参考文献》

飯田汲事（1979）：明応地震・天正地震・宝永地震・安政地震の震害と震度分布．愛知県防災会議地震部会，109P.

森　勇一・鈴木正貴（1989）：愛知県清洲城下町遺跡における地震痕の発見とその意義、活断層研究，7，63—69.

森　勇一・鈴木正貴（1990）：清洲城下町遺跡及びその周辺地域から発見された歴史地震の記録．歴史地震，5，33—41.

寒川　旭・佃　栄吉・葛原秀男（1987）：滋賀県高島郡今津町の北仰西海道遺跡において認められた地震痕．地質ニュース，390，13—17.

寒川　旭・岩松　保・黒坪一樹（1987）：京都府木津川河床遺跡において認められた地震痕．地震，40，575—583.

寒川　旭（1988a）：考古学の研究対象に認められる地震の痕跡．古代学研究，116，1—16.

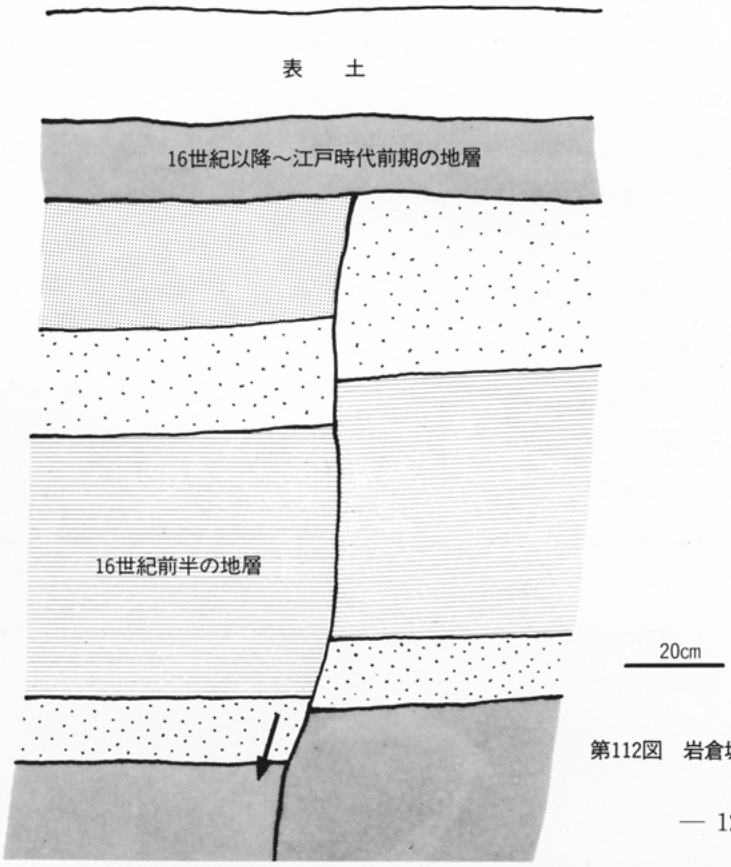
寒川　旭（1988b）：地震考古学の提唱．日本文化財科学会会報，16，19—26.

寒川　旭（1990）：遺跡で発掘された地震痕．歴史地震，5，15—21.

鈴木正貴（1991）：天正地震下層の出土遺物—清洲城下町遺跡90D区出土遺物の検討—．愛知県埋蔵文化財センター年報（平成2年度），111—122.

東京大学地震研究所編（1982・1984）：新収日本地震資料（第1巻～5巻），日本電気協会

宇佐見龍夫（1987）：新編日本被害地震総覧，東京大学出版会，437P.



第112図　岩倉城遺跡89C区における小断層

V　まとめ

岩倉城遺跡は、五条川中流域に発達した自然堤防上に展開する遺跡であり、今回の発掘調査は、その自然堤防帯を東西に貫く形で実施されたため、縄文晩期から戦国時代に至るまでの貴重な遺構・遺物を確認することができた。ここでは、とくに遺跡の変遷を簡単にまとめておきたい。

［Ⅰ期］　縄文晩期および弥生時代中期の遺構・遺物を、五条川左岸の遺跡最東端部で確認したが、それらは、遺跡全体へは広がらず、局所的な存在である。

①　縄文晩期の遺構としては、竪穴住居、土坑等を検出した。それらは、東西幅50～60m程度の範囲内に集中し、それ以外の地点では認められず、小規模な集落であったと考えられよう。

②　弥生時代中期の遺構は、貝田町式期を主体とするものであった。遺跡の南方には隣接して弥生時代前期から後期にかけて継続し、中期・貝田町式期に主体をおくと考えられる曽野遺跡があり、発掘調査で確認された遺構・遺物は、それとの関連で捉えなければならないであろう。

［Ⅱ期］　弥生時代後期から古墳時代初頭にいたって、はじめて遺跡全体に安定したヒトの定着が認められるようになる。

①　五条川右岸の自然堤防上に居住域を、対岸の微高地上に墓域を設定した一般的な集落構造をつかむことができた。また、旧河道へ落ち込んでいく傾斜変換地点で、遺構は希薄ながら多量の遺物を出土する空間を検出した。

②　遺構・包含層中より多量の土器が出土した。これらの詳細な分析は時間的な余裕がなく実施することはできなかった。しかし、ＳＢ1204・1206、ＳＸ1201より出土した一括資料は、当地方の弥生時代後期から古墳時代初頭の土器編年を考える上で貴重な資料と言えよう。

［Ⅲ期］　Ⅲ期の遺構は、古墳・集石墓群といった「墓」に限定できる遺構のみであり、遺跡は広く墓域として機能していたと考えられる。

①　検出された古墳は、すべて方形状に周溝を巡らすものであり、尾張地方の当該期の古墳に一般的にみられる形状を呈していた。

②　７世紀中葉前後に築造された集石墓群は、全国的にも類例のみられない極めて珍しい墓制であった。東海地方においては、６世紀末から７世紀にかけて、追葬・多葬が可能な横穴式石室墳を中心とする墓制から単葬を目的とした墓制に変化する傾向がみられはじめる。集石墓群も、そういった時代的な動きのなかで誕生した古墳時代終末期の墓制といえるであろう。

［Ⅳ期］　五条川の両岸で、遺構・遺物が認められた。しかし、それらは散在的にみられたのみで、

遺構の性格等を判断するまでにはいたらなかった。

［Ⅴ期］　Ⅴ期の遺構は五条川の両岸で確認できた。右岸では掘立柱建物と溝が、左岸では井戸や溝が在り、人々の居住域であったと考えられる。

① 右岸で検出した掘立柱建物はいずれも礎板の上に柱を建てる構造である。柱の方向は内堀などと直行もしくは平行する。溝も内堀と直行することから、これらの遺構は城に発展する前身的な建物であった可能性もある。

② 左岸で検出した井戸や溝からはかなり纏まった量の遺物が出土し、道の存在を推定させる平行する2条の溝(SD27・28)も見つかり、右岸よりも多くの人々の生活を想像できる。

［Ⅵ期］　Ⅵ期の遺構は発掘調査前には五条川右岸のみに埋没すると推定されていたが、五条川左岸にも広がり、予想を上回る規模の城であったことが確認できた。『武功夜話』の内容を実証するかのごとく、尾張を分割統治する人物が住むに相応しい規模の城であり、計画的に配置された武家屋敷や城下町を有していた可能性が高い。

① 右岸では10mほどの外堀と23mにもなる規模の内堀を検出した。本丸は西半分が後世の削平をうけ確認できなかったが、東の内堀のすぐ内側は一番高くなり、この部分では織田信長によって攻められたときと推定される焼土の広がりが確認できなかったことから、ここにかなり大規模な土塁が存在したことは推定するに難くない。西側の内堀も同じ規模であることや文献の記述から、西側に大規模な土塁が存在したこともまず間違いないものと考えられよう。

なお瓦はまったく出土しなかったため檜皮葺きの類の屋根であったらしい。

② 左岸では10mほどの規模の堀を3条確認し、城の付属施設がこちらにも広がっていたことが確認できた。ここにどんな性格の施設が存在したかは定かではないが、五条川から約 250m東に位置する堀は総堀で、このすぐ内側には城下町の一部が展開していたらしい。

発掘調査の成果と地籍図をもとにした岩倉城の復元案は、すでに金子健一によって試みられている（金子　1990)。現時点では調査担当者の意見は大略では、金子案に一致を見る。よって、岩倉城の復元については金子論文を参照されたい。

金子健一　1990「戦国城下町岩倉の復元的考察」『年報　平成2年度』118頁～130頁。

付　表

1．遺構表

Ⅰ期(縄文晩期)

遺構番号	調査区	旧遺構番号	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	備考
SB1001	90B	SB101	—	—	0.05	
SB1002	90B	SB102	(0.4)	3.2	0.03	
SB1003	90B	SB103	—	4.3	0.10	
SK1001	90B	SK101	2.5	—	0.11	
SK1002	90B	SK104	2.5	1.3	0.10	
SK1003	90B	SB104	—	—	0.15	

Ⅰ期(弥生中期)

遺構番号	調査区	旧遺構番号	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	備考
SB1101	90B	SB01	—	(4.7)	0.10	
SB1102	90B	SB02	—	4.6	0.20	
SD1101	90B	SD53	—	2.7	0.33	
SD1102	90B	SD54	—	1.2	0.21	
SD1103	90B	SD57	—	1.5	0.45	
SD1104	90A	SD102	—	2.2	0.32	
SD1105	90Ca	SD01	—	1.7	0.51	

Ⅱ期

遺構番号	調査区	旧遺構番号	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	備考
SB1201	89AB	SB01	(5.6)	5.6	0.30	
SB1202	89AB	SB02	—	—	0.30	
SB1203	89AB	SB03	—	—	0.12	
SB1204	89AB	SB04	(7.0)	—	0.30	
SB1205	89AB	SB05	6.4	—	0.18	
SB1206	89AB	SB06	(7.0)	6.6	0.15	
SB1207	89AB	SB07	—	—	0.15	
SB1208	89AB	SB08	—	—	0.11	
SB1209	63Ad	SB01	—	—	0.05	
SB1210	63Ad	SB02	—	—	0.05	
SK1201	63Ad	P3	0.4	0.4	0.10	
SK1202	63Bc	SK02	(1.0)	—	0.12	
SK1203	63Ba	SK01	1.0	(1.0)	0.15	
SK1204	89Ea	SE01	(1.5)	1.5	(0.70)	
SZ1201	89F	SZ01	—	—	0.60	
SX1201	89Ea	SX01	—	—	—	凹地状の堆積
SX1202	89C	SX01	—	—	—	集石
SX1203	89C	SX02	—	—	—	集石
SD1201	89AB	SD504	—	0.8	0.15	

Ⅲ期

遺構番号	調査区	旧遺構番号	規模(m)	周溝幅(m)	深さ(m)	備考
SZ1301	62B・63Ad	SD04・SD02	(26.0)	4.0	0.15	
SZ1302	89Ga・90A	SD01・SD08	(17.0)	6.0	0.60	
SZ1303	89Gb・90A	SD07・SD04	(13.0)	1.2～2.0	0.60	
SZ1304	90B	SD51	(18.0)	5.5	0.20	

Ⅳ期

遺構番号	調査区	旧遺構番号	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	備考
SD1401	63BC	SD04	—	1.7	0.30	
SD1501	89F	SD07	—	0.5	0.20	
SD1502	89F	SD08	—	0.5	0.20	
SK1401	89F	SK03	—	1.5	0.70	
SX1501	90B	SX01	4.5	4	1.30	

Ⅴ期(中世)

遺構番号	調査区	旧遺構番号	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	備考
SB01	62B	SB01	4間	3間	—	掘立柱建物
SB02	62B	SB02	4間	3間以上	—	掘立柱建物
SE03	89F	SE02	(掘形直径)	—	2	
SE04	89F	SE01	3.7	—	2.5	
SE05	89F	SE03	1.7	—	1.0	
SD16	89A・B	SD503	—	(幅) 0.5～1.8	0.3	
SD17	89A・B	SD502	—	0.8～1.7	0.5	
SD26	90A	SD03	—	1～1.8	1.1	
SD27	90Ba	SD03	—	0.5	0.05	
SD28	90Ba	SD04	—	0.7	0.05	

Ⅳ期(戦国)

遺構番号	調査区	旧遺構番号	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	備考
SD01	63Aa・63C	外堀	—	(幅) 約1.0	2	
SD02	63Ac・63Ba	外堀	—	約23	3以上	
SD03	62A・62B	SD03	—	5	2	
SD04	62A	SD01′	—	2.7	0.9	
SD05	62A	SD01	—	3	1	
SD06	89A・B	SD03	—	3	1.7	
SD07	89A・B	SD01	—	20	7	
SD08	89C	SD01	—	12	3.5	
SD09	89Ea	SD23	—	8～9	2.5	
SD10	89F	SD05	—	8～9	2.5～3	
SD11	90Bb	SD01	—	10	3	
SD12	63Bb	SD01	—	2	1	
SD13	62A	SD04	—	0.6～0.9	0.2	
SD14	62A	SD05	—	0.7	0.3	
SD15	89A・B	SD11	—	0.5～1.5	0.4	
SD18	89A・B	SD501	12	4	?	
SD19	89A・B	SD02	—	5	0.4	
SD20	89Eb	SD18	—	2.5	0.8	
SD21	89F	SD10	—	1.5～2	1	
SD22	89Gb	SD03	—	1.5～2.5	0.2	
SD23	89Gb	SD01	—	—	0.5	
SD24	90Ba	SD07	—	1.5	0.4	
SD25	90A	SD01	—	1	0.4	
SD29	90Ba	SD09	—	—	0.6	
SE01	63Bd	SE02	(掘形直径) 2	—	—	桶組
SE02	63Bd	SE03	—	—	—	桶組
SE06	90A	SE01	2	—	2	桶組
SK01	63Bb	SK01	(直径) —	(短径) 2.5	0.5	
SK02	62A	SD02	—	2.7	0.5	
SK03	62A	SK05	2	1.5	0.75	
SK04	62A	SK06	—	1.8	0.5	
SK05	62A	SK01	—	1.6	0.15	
SX01	62B	焼土層	約8	3.2	(層) 0.07	

2．遺物表

Ⅰ期　1縄文

遺物番号	登録番号	遺構	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)	備考
1	90B-E-1034	SB1002	—	—	—	
2	90B-E-1005	SB1002	—	—	—	
3	90B-E-1004	SB1002	—	—	—	
4	90B-E-1003	SB1002	—	—	—	
5	90B-E-1012	SB1003	—	—	—	
6	90B-E-1013	SB1003	—	—	—	
7	90B-E-1014	SB1003	—	—	—	
8	90B-E-1009	SB1003	—	—	—	
9	90B-E-1010	SB1003	—	—	—	
10	90B-E-1008	SB1003	—	—	—	
11	90B-E-1007	SB1003	—	—	—	
12	90B-E-1015	SB1003	—	—	—	
13	90B-E-1039	SK1004	—	—	—	
14	90B-E-1040	SK1004	—	—	—	
15	90B-E-1055	包含層	—	—	—	
16	90B-E-1060	包含層	—	—	—	
17	90B-E-1056	包含層	—	—	—	
18	90B-E-1057	包含層	—	—	—	
19	90B-E-1058	包含層	—	—	—	

Ⅰ期　2縄文

遺物番号	登録番号	遺構	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)	備考
20	90B-E-1024	SD1101	23.1	—	—	
21	90B-E-1025	SD1101	10.8	—	—	
22	90B-E-1021	SD1101	—	—	—	
23	90B-E-1023	SD1101	—	—	—	
24	90B-E-1020	SD1101	—	—	—	
25	90B-E-1022	SD1101	—	—	—	
26	90B-E-1027	SD1102	30.2	—	—	
27	90B-E-1028	SD1102	—	—	—	
28	90B-E-1029	SD1102	—	—	—	
29	90B-E-1032	SD1102	20.8	—	—	
30	90B-E-1025	SD1104	10.4	—	—	
31	90B-E-1001	SD1104	—	6.2	—	
32	90Ca-E-1009	SD1105	—	—	—	
33	90Ca-E-1005	SD1105	—	—	—	
34	90Ca-E-1006	SD1105	—	—	—	
35	90Ca-E-1007	SD1105	—	—	—	
36	90Ca-E-1008	SD1105	—	—	—	
37	90Ca-E-1010	SD1105	—	—	—	
38	90Ca-E-1003	SD1105	—	—	—	
39	90Ca-E-1002	SD1105	—	—	—	
40	90Ca-E-1004	SD1105	—	—	—	
41	90Ca-E-1017	SD1105	33.6	—	—	
42	90Ca-E-1012	SD1104	—	5.4	—	
43	90Ca-E-1013	SD1104	—	4.4	—	
44	90A-E-1023	包含層	—	—	—	
45	90B-E-1017	包含層	—	—	—	
46	90A-E-1022	包含層	—	—	—	
47	90A-E-1014	包含層	—	—	—	
48	90A-E-1008	包含層	—	—	—	
49	90A-E-1003	包含層	—	—	—	
50	90A-E-1009	包含層	—	—	—	
51	90A-E-1010	包含層	—	—	—	
52	90A-E-1004	包含層	—	—	—	
53	90B-E-1052	包含層	—	—	—	
54	90A-E-1027	包含層	—	—	—	
55	90A-E-1016	包含層	—	—	—	
56	90A-E-1015	包含層	—	—	—	
57	90B-S-1003	包含層	—	—	—	

II期　弥生時代後期～古墳時代

遺物番号	登録番号	遺構	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)	備考
58	89AB-E-1001	SB1201	—	—	—	
59	89AB-E-1002	SB1201	—	—	—	
60	89AB-E-1004	SB1201	—	—	—	
61	89AB-E-1005	SB1201	—	—	—	
62	89AB-E-1006	SB1201	—	—	—	
63	89AB-E-1007	SB1201	—	—	—	
64	89AB-E-1004	SB1201	—	—	—	
65	89AB-E-1009	SB1201	—	—	—	
66	89AB-E-1008	SB1201	—	—	—	
67	89AB-E-1012	SB1201	—	—	—	
68	89AB-E-1011	SB1201	—	—	—	
69	89AB-E-1010	SB1201	—	—	—	
70	89AB-E-1033	SB1204	—	—	—	
71	89AB-E-1020	SB1204	13.2	—	—	
72	89AB-E-1014	SB1204	23.2	—	—	
73	89AB-E-1032	SB1204	16.2	—	—	
74	89AB-E-1030	SB1204	14.8	—	—	
75	89AB-E-1029	SB1204	13.8	—	—	
76	89AB-E-1031	SB1204	—	4.2	—	
77	89AB-E-1025	SB1204	19.2	—	—	
78	89AB-E-1023	SB1204	17.4	—	9.4	
79	89AB-E-1027	SB1204	17.6	—	—	
80	89AB-E-1028	SB1204	17.2	—	—	
81	89AB-E-1021	SB1204	16.8	—	—	
82	89AB-E-1024	SB1204	17.8	—	—	
83	89AB-E-1013	SB1204	17.2	—	—	
84	89AB-E-1019	SB1204	27.8	—	—	
85	89AB-E-1018	SB1204	23.8	—	—	
86	89AB-E-1017	SB1204	25.4	14.4	21.8	
87	89AB-E-1017	SB1204	25.4	14.4	21.8	
88	89AB-E-1016	SB1204	22.4	14.4	21.8	
89	89AB-E-1015	SB1204	21.2	14.8	17.4	
90	89AB-E-1045	SB1206	24.4	—	—	
91	89AB-E-1046	SB1206	18.2	14.8	15.1	
92	89AB-E-1041	SB1206	—	15.6	—	
93	89AB-E-1048	SB1206	—	—	—	
94	89AB-E-1041	SB1206	18.2	—	9.8	
95	89AB-E-1040	SB1206	16.8	—	10.4	
96	89AB-E-1038	SB1206	—	8.2	—	
97	89AB-E-1044	SB1206	23.2	—	—	
98	89AB-E-1042	SB1206	17.8	—	—	
99	89AB-E-1039	SB1206	21.2	11.2	25.8	
100	89AB-E-1035	SB1206	—	—	—	
101	89AB-E-1036	SB1206	—	—	—	
102	89AB-E-1034	SB1206	15.1	5.6	26.1	
103	63Ad-E-1008	SB1209	—	4.6	—	
104	63Bc-E-1001	SK1202	10.8	4.1	12.8	
105	63Ad-E-1004	SK1201	12.8	4.4	19.8	
106	89AB-E-1049	SD1201	—	5.2	—	
107	89AB-E-1050	SD1201	—	6.8	—	
108	89Ea-E-1011	SX1201	9.8	—	7.6	
109	89Ea-E-1007	SX1201	12.8	—	6.4	
110	89Ea-E-1008	SX1201	15.0	—	5.2	
111	89Ea-E-1024	SX1201	18.4	—	6.4	
112	89Ea-E-1016	SX1201	8.4	12.3	8.9	
113	89Ea-E-1017	SX1201	8.1	11.0	8.7	
114	89Ea-E-1018	SX1201	10.4	11.1	10.2	
115	89Ea-E-1015	SX1201	8.4	11.3	9.2	
116	89Ea-E-1019	SX1201	8.4	13.6	9.7	
117	89Ea-E-1010	SX1201	14.0	—	—	
118	89Ea-E-1021	SX1201	—	—	—	
119	89Ea-E-1009	SX1201	—	2.4	—	
120	89Ea-E-1020	SX1201	14.6	—	—	

遺物番号	登録番号	遺構	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)	備考
121	89Ea-E-1013	SX1201	21.4	—	—	
122	89Ea-E-1014	SX1201	15.4	6.0	26.9	
123	89Ea-E-1023	SX1201	13.4	—	—	
124	89Ea-E-1012	SX1201	14.2	9.4	25.2	
125	89Ea-E-1022	SX1201	—	7.4	—	
126	89Ea-E-1002	SK1204	16.6	—	4.8	
127	89Ea-E-1003	SK1204	19.2	—	—	
128	89Ea-E-1001	SK1204	19.0	12.8	11.5	
129	89Ea-E-1004	SK1204	12.4	—	—	
130	89Ea-E-1005	SK1204	13.3	9.3	22.8	
131	89Ea-E-1006	SK1204	18.4	10.6	30.0	
132	89F-E-1004	SZ1201	10.6	2.8	17.4	
133	89F-E-1002	SZ1201	15.8	5.4	28.8	
134	89F-E-1001	SZ1201	—	13.2	—	
135	89F-E-1003	SZ1201	23.2	15.2	23.2	
136	89AB-E-1062	包含層	24.8	—	—	
137	89AB-E-1058	包含層	—	—	—	
138	63Ad-E-1006	包含層	—	—	—	
139	63Ad-E-1005	包含層	—	15.6	—	
140	89AB-E-1065	包含層	—	—	—	
141	89AB-E-1052	包含層	—	—	—	
142	89AB-E-1060	包含層	—	22	—	
143	89AB-E-1064	包含層	—	—	—	
144	63BC-E-1005	包含層	—	10.8	—	
145	89AB-E-1061	包含層	—	13.8	—	
146	89AB-E-66	包含層	—	—	—	
147	63Ad-E-1002	包含層	20.2	—	—	
148	89AB-E-1054	包含層	14.8	—	—	
149	89AB-E-1059	包含層	14.8	7.4	20.8	
150	89AB-E-1056	包含層	19.6	—	—	
151	89AB-E-1055	包含層	21.2	—	—	
152	89AB-E-1057	包含層	21.8	—	—	
153	63Ad-E-1003	包含層	—	9.8	—	
154	63Ad-E-1003	包含層	—	9.6	—	
155	63Ad-E-1001	包含層	—	9.4	—	
156	89AB-E-1063	包含層	—	8.2	—	
157	89C-E-1028	包含層	20.6	—	—	
158	89C-E-1009	包含層	17.2	—	—	
159	89C-E-1043	包含層	—	—	—	
160	89C-E-1041	包含層	—	—	—	
161	89C-E-1046	包含層	—	15.4	—	
162	89C-E-1045	包含層	—	3.6	—	
163	89C-E-1047	包含層	12.2	—	—	
164	89C-E-1033	包含層	—	4.8	—	
165	89C-E-1004	包含層	—	3.4	—	
166	89C-E-1022	包含層	19.6	—	—	
167	89C-E-1031	包含層	19.2	—	—	
168	89C-E-1005	包含層	21.6	—	—	
169	89C-E-1030	包含層	—	5.6	—	
170	89C-E-1009	包含層	16.6	—	—	
171	89C-E-1022	包含層	20.6	—	—	
172	89C-E-1035	包含層	21.2	—	—	
173	89C-E-1047	包含層	18.2	—	—	
174	89C-E-1034	包含層	17.2	—	—	
175	89C-E-1027	包含層	18.6	—	—	
176	89C-E-1025	包含層	—	—	—	
177	89C-E-1036	包含層	—	8.8	—	
178	89C-E-1002	包含層	—	6.6	—	
179	89C-E-1049	包含層	—	5.8	—	
180	89C-E-1042	包含層	—	6.8	—	
181	89C-E-1006	包含層	8.6	7.6	4.8	
182	89C-E-1003	包含層	—	4.4	—	
183	89C-E-1010	包含層	18.6	—	—	
184	89C-E-1017	包含層	24.8	—	—	
185	89C-E-1018	包含層	24.8	—	—	

遺物番号	登録番号	遺構	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)	備考
186	89C-E-1021	包含層	—	13.4	—	
187	89C-E-1007	包含層	23.8	—	—	
188	89C-E-1039	包含層	—	—	—	
189	89C-E-1001	包含層	25.2	14.2	23.6	
190	89C-E-1019	包含層	—	—	—	
191	89C-E-1036	包含層	17.0	—	—	
192	89C-E-1040	包含層	—	—	—	
193	89C-E-1024	包含層	—	—	—	
194	89C-E-1020	包含層	—	—	—	
195	89C-E-1044	包含層	—	14.2	—	
196	89C-E-1008	包含層	—	12.0	—	
197	89Ea-E-1086	包含層	17.6	—	—	
198	89Ea-E-1066	包含層	18.0	—	—	
199	89Ea-E-1124	包含層	—	—	—	
200	89Ea-E-1112	包含層	—	—	—	
201	89Da-E-1001	包含層	12.2	5.0	20.2	
202	89Ea-E-1032	包含層	13.6	—	—	
203	89Ea-E-1059	包含層	16.2	—	—	
204	89Ea-E-1058	包含層	14.4	—	—	
205	89Ea-E-1117	包含層	18.8	—	—	
206	89Ea-E-1068	包含層	16.8	—	—	
207	89Da-E-1010	包含層	18.9	—	—	
208	89Ea-E-1079	包含層	20.8	—	—	
209	89Ea-E-1064	包含層	16.2	—	—	
210	89Ea-E-1057	包含層	14.8	—	—	
211	89Ea-E-1140	包含層	21.2	—	—	
212	89Ea-E-1031	包含層	—	—	—	
213	89Ea-E-1061	包含層	—	6.8	—	
214	89Da-E-1008	包含層	—	—	—	
215	89Ea-E-1084	包含層	—	—	—	
216	89Ea-E-1056	包含層	—	—	—	
217	89Ea-E-1135	包含層	—	8.2	—	
218	89Ea-E-1080	包含層	14.2	—	—	
219	89Ea-E-1142	包含層	14.8	—	—	
220	89Ea-E-1089	包含層	14.0	—	—	
221	試掘TT6	包含層	18.0	—	—	
222	89Ea-E-1081	包含層	13.6	—	—	
223	89Ea-E-1046	包含層	17.2	—	—	
224	89Ea-E-1045	包含層	17.6	—	—	
225	89Ea-E-1038	包含層	11.2	—	—	
226	89Ea-E-1051	包含層	15.2	—	—	
227	89Ea-E-1042	包含層	17.4	—	—	
228	89Ea-E-1041	包含層	12.4	—	—	
229	89Ea-E-1047	包含層	15.4	—	—	
230	89Ea-E-1099	包含層	10.8	—	—	
231	89Ea-E-1116	包含層	14.8	—	—	
232	89Ea-E-1050	包含層	15.2	—	—	
233	89Ea-E-1044	包含層	14.4	—	—	
234	89Ea-E-1138	包含層	10.6	8.0	18.8	
235	89Da-E-1003	包含層	12.8	8.2	24.2	
236	89Ea-E-1088	包含層	14.8	—	—	
237	89Ea-E-1136	包含層	16.8	10.0	28.8	
238	89Da-E-1006	包含層	15.6	—	—	
239	89Ea-E-1077	包含層	11.8	—	—	
240	89Ea-E-1092	包含層	14.6	—	—	
241	89Ea-E-1058	包含層	12.0	—	—	
242	89Ea-E-1091	包含層	13.2	—	—	
243	89Ea-E-1090	包含層	13.4	—	—	
244	89Ea-E-1082	包含層	14.4	—	—	
245	89Ea-E-1034	包含層	12.8	—	—	
246	89Ea-E-1076	包含層	14.8	—	—	
247	89Ea-E-1033	包含層	14.2	—	—	
248	89Ea-E-1043	包含層	15.4	—	—	
249	89Ea-E-1049	包含層	15.2	—	—	
250	89Ea-E-1097	包含層	18.4			

遺物番号	登録番号	遺構	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)	備考
251	89Ea-E-1094	包含層	15.6			
252	89Ea-E-1048	包含層	13.2			
253	89Ea-E-1101	包含層	11.8			
254	89Ea-E-1098	包含層	15.8			
255	89Ea-E-1100	包含層	18.6			
256	89Ea-E-1115	包含層	13.0			
257	89Ea-E-1093	包含層	16.4			
258	89Da-E-1007	包含層	13.6	—	—	
259	89Ea-E-1111	包含層	15.0	—	—	
260	89Ea-E-1083	包含層	16.0	—	—	
261	89Ea-E-1126	包含層	13.4	8.0	24.8	
262	89Ea-E-1052	包含層	12.6	—	—	
263	89Ea-E-1137	包含層	—	10.6	—	
264	89Ea-E-1029	包含層	—	8.0	—	
265	89Ea-E-1108	包含層	—	9.0	—	
266	89Ea-E-1119	包含層	23.2	—	—	
267	89Ea-E-1132	包含層	24.0	—	—	
268	89Ea-E-1025	包含層	16.8	11.8	11.8	
269	89Ea-E-1026	包含層	23.2	11.6	17.4	
270	89Ea-E-1139	包含層	27.6	—	—	
271	89Ea-E-1122	包含層	28.0	—	—	
272	89Ea-E-1110	包含層	25.6	—	—	
273	89Ea-E-1150	包含層	32.6	15.2	20.6	
274	89Ea-E-1120	包含層	17.2	17.8	12.6	
275	89Ea-E-1130	包含層	—	11.0	—	
276	試掘TT6	包含層	—	—	—	
277	89Ea-E-1121	包含層	—	13.6	—	
278	89Ea-E-1143	包含層	—	11.2	—	
279	89Ea-E-1028	包含層	—	8.6	—	
280	89Ea-E-1146	包含層	—	11.8	—	
281	89Ea-E-1069	包含層	11.2	11.8	8.4	
282	89Ea-E-1104	包含層	16.4	—	4.2	
283	89Ea-E-1148	包含層	9.2	—	—	
284	89Ea-E-1069	包含層	11.2	12.0	8.4	
285	89Ea-E-1103	包含層	—	12.0	—	
286	89Ea-E-1105	包含層	5.6	—	6.8	
287	89Ea-E-1106	包含層	10.2	—	6.4	
288	89Ea-E-1074	包含層	11.4	—	5.2	
289	89Ea-E-1067	包含層	12.0	—	7.2	
290	89Ea-E-1071	包含層	14.2	—	6.0	
291	89Ea-E-1070	包含層	16.2	—	5.6	
292	89Ea-E-1104	包含層	16.4	—	4.2	
293	89Ea-E-1053	包含層	16.6	—	5.4	
294	89Ea-E-1144	包含層	—	—	—	
295	89Db-E-1005	包含層	—	—	—	
296	89Db-E-1003	包含層	—	—	—	
297	89F-E-1005	包含層	18.2	—	—	
298	89Db-E-1004	包含層	—	15.0	—	

Ⅲ期　古墳時代後期

遺物番号	登録番号	遺構	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)	備考
299	62B-M-1023	SZ1301	—	—	—	
300	62B-E-1021	SZ1301	—	5.2	—	
301	62B-E-1022	SZ1301	6.4	—	7.4	
302	62B-E-1020	SZ1301	8.8	—	—	
303	62B-E-1003	SZ1301	—	—	—	
304	62B-E-1005	SZ1301	—	—	—	
305	62B-E-1004	SZ1301	—	—	—	
306	62B-E-1006	SZ1301	—	—	—	
307	62B-E-1010	SZ1301	—	—	—	
308	62B-E-1009	SZ1301	—	—	—	
309	62B-E-1008	SZ1301	—	—	—	
310	62B-E-1007	SZ1301	—	—	—	
311	62B-E-1017	SZ1301	—	—	—	
312	62B-E-1018	SZ1301	11.0	8.4	12.0	
313	62B-E-1019	SZ1301	11.0	8.4	12.0	

遺物番号	登録番号	遺構	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)	備考
314	62B-E-1012	SZ1301	—	—	—	
315	62B-E-1015	SZ1301	—	—	—	
316	62B-E-1013	SZ1301	—	—	—	
317	62B-E-1014	SZ1301	—	—	—	
318	62B-E-1017	SZ1301	—	—	—	
319	62B-E-1016	SZ1301	—	—	—	
320	89Ga-E-1002	SX1308	7.6	—	27.2	集石墓群出土
321	89Ga-E-1012	SZ1302	—	15.4	—	
322	89Ga-E-1008	SZ1302	—	11.8	—	
323	89Ga-E-1007	SZ1302	12.0	—	—	
324	89Ga-E-1009	SZ1302	—	12.0	—	
325	89Ga-E-1006	SZ1302	3.2	4.6	11.8	
326	89Ga-E-1005	SZ1302	11.6	9.2	7.8	
327	89Ga-E-1004	SZ1302	11.0	9.6	8.4	
328	89Ga-E-1010	SZ1302	—	8.4	—	
329	89Ga-E-1011	SZ1302	—	10.1	—	
330	89Ga-E-1013	SZ1302	—	9.6	—	
331	89Ga-E-1003	SZ1302	15.0	16.2	7.2	
332	89Ga-E-1001	SZ1302	11.0	21.1	4.0	
333	89Gb-E-1003	SZ1303	—	11.1	3.8	
334	89Gb-E-1012	SZ1303	—	13.8	3.8	
335	89Gb-E-1002	SZ1303	—	13.2	4.4	
336	89Gb-E-1011	SZ1303	—	13.6	3.6	
337	89Gb-E-1004	SZ1303	10.6	—	4.2	
338	89Gb-E-1005	SZ1303	10.4	—	4.2	
339	89Gb-E-1006	SZ1303	11.6	—	4.4	
340	89Gb-E-1001	SZ1303	—	—	—	
341	89Gb-E-1009	SZ1303	16.2	—	—	
342	89Gb-E-1010	SZ1303	18.6	—	—	
343	89Gb-E-1008	SZ1303	21.2	—	—	
344	89Gb-E-1007	SZ1303	25.2	—	39.2	
345	90B-E-1019	SZ1304	—	8.4	—	
346	90B-E-1018	SZ1304	11.4	6.0	17.2	
347	89Eb-E-1010	包含層	14.2	—	—	
348	89Eb-E-1009	包含層	13.8	—	—	
349	89Eb-E-1016	包含層	17.6	9.4	33.6	
350	89F-E-1015	包含層	—	10.8	4.2	
351	89F-E-1016	包含層	—	12.1	4.6	
352	89F-E-1014	包含層	—	12.6	3.8	
353	89F-E-1007	包含層	—	10.6	4.2	
354	89Eb-E-1011	包含層	—	10.8	4.6	
355	89Eb-E-1001	包含層	—	13.2	3.4	
356	89F-E-1008	包含層	—	14.4	—	
357	89Eb-E-1002	包含層	—	3.6	15.0	
358	89F-E-1012	包含層	—	11.8	5.6	
359	89Eb-E-1005	包含層	11.4	—	4.8	
360	89F-E-1013	包含層	13.0	—	3.8	
361	89Eb-E-1007	包含層	8.2	—	—	
362	89F-E-1017	包含層	—	—	—	
363	89Eb-E-1006	包含層	—	11.6	—	
364	89Eb-E-1004	包含層	—	14.2	—	
365	89Eb-E-1003	包含層	—	11.8	—	
366	89F-E-1019	包含層	—	—	—	
367	89F-E-1018	包含層	—	—	—	
348	89F-E-1011	包含層	30.6	—	—	
369	89F-E-1021	包含層	20.8	—	—	
370	89F-E-1020	包含層	18.6	—	—	
371	89F-E-1022	包含層	19.2	—	—	
372	89Eb-S-1001	包含層	—	—	—	
373	89F-S-1001	包含層	—	—	—	

Ⅳ期　古代

遺物番号	登録番号	遺構	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)	備考
374	63Bc-E-1002	SD1401	11.6	3.2	6.2	
375	89F-E-1032	SK1401	—	13.0	—	
376	89F-E-1030	SK1401	—	14.3	—	
377	89F-E-1029	SK1401	—	17.2	—	
378	89F-E-1033	SK1401	7.6	9.2	11.8	
379	89F-E-1039	SK1401	13.0	8.9	2.4	
380	90B-E-1043	SX1501	15.0	7.2	5.8	
381	90B-E-1044	SX1501	16.6	6.6	6.4	
382	89F-E-1027	SD1501	11.6	6.2	2.2	
383	89F-E-1026	SD1501	12.4	6.4	3.9	
384	62B-E-1001	包含層	12.4	5.6	5.6	
385	62B-E-1002	包含層	13.2	6.4	4.2	
386	63B-E-1002	包含層	12.6	4.4	4.8	
387	63B-E-1001	包含層	12.8	6.2	4.6	
388	89F-E-1025	包含層	—	10.4	—	

Ⅴ期　中世

遺物番号	登録番号	遺構	器種	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)	備考
389	89F-E-47	SE04	皿A1	7.6	4.5	1.5	
390	89F-E-72	SE04	皿A1	7.8	4.2	1.6	
391	89F-E-2	SE04	皿A1	7.9	4.6	2.4	
392	89F-E-3	SE04	皿A1	7.6	3.7	1.7	
393	89F-E-71	SE04	皿A1	7.5	4.5	1.5	
394	89F-E-4	SE04	皿A1	7.7	4.8	1.7	
395	89F-E-6	SE04	椀A1	12.4	—	—	
396	89F-E-5	SE04	椀A1	15.4	—	—	
397	89F-E-7	SE04	椀A1	15.0	—	—	
398	89F-E-10	SE04	椀A1	14.0	6.6	5.4	
399	89F-E-48	SE04	椀A1	15.1	7.6	5.5	
400	89F-E-8	SE04	椀A1	14.4	5.8	5.2	
401	89F-E-9	SE04	椀A1	13.8	7.0	5.9	片口
402	89F-E-1	SE04	土師質鍋	24.9	—	—	伊勢型鍋
403	90A-E-10	SD26	皿A2	7.5	5.1	8.5	
404	90A-E-9	SD26	皿A1	7.6	3.7	1.6	
405	90A-E-8	SD26	皿A1	8.0	4.5	1.5	
406	90A-E-1	SD26	椀A1	12.3	6.8	5.3	
407	90A-E-5	SD26	椀A1	13.2	6.2	5.4	
408	90A-E-4	SD26	椀	9.8	5.9	4.5	高い台がつく
409	90A-E-3	SD26	水注	7.9	—	—	
410	90A-E-6	SD26	壺	13.6	—	—	
411	90A-E-11	SD26	甕	36.6	—	—	常滑
412	90A-E-7	SD26	土師質鍋	28.1	—	—	伊勢型鍋
413	89F-E-14	SE03	椀A2	11.9	3.8	4.9	
414	89F-E-22	SE03	椀A2	13.1	4.4	5.8	
415	89F-E-24	SE03	椀A2	13.6	4.3	5.8	
416	89F-E-23	SE03	椀A2	13.9	4.6	6.0	
417	90A-E-4	SD25	皿A2	7.6	4.0	1.1	
418	90A-E-5	SD25	皿A1	8.4	4.2	1.9	
419	90A-E-3	SD25	縁釉皿	9.6	5.4	19.5	灰釉
420	90A-E-6	SD25	椀A2	12.0	4.0	4.2	
421	90A-E-1	SD25	椀A1	13.6	4.8	5.4	
422	90A-E-7	SD25	壺	13.6	—	—	
423	90A-E-2	SD25	甕	42.6	—	—	常滑
424	90A-E-6	SE06	皿A2	7.2	3.8	1.4	
425	90A-E-5	SE06	皿A2	8.8	3.8	1.8	
426	90A-E-2	SE06	椀A2	11.8	3.0	3.4	
427	90A-E-4	SE06	椀A2	11.8	3.8	3.7	
428	90A-E-1	SE06	椀A2	11.8	—	—	
429	90A-E-7	SE06	壺	19.6	—	—	

Ⅵ期　戦国

遺物番号	登録番号	遺構	器種	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)	備考
430	62B-E-10	SX01	椀B1	11.8	—	—	
431	62B-E-11	SX01	椀B1	12.8	—	—	
432	62B-E-8	SX01	土師質皿B3	11.4	5.2	1.8	
433	62B-E-9	SX01	土師質皿B7	17.0	8.4	3.1	
434	62B-E-15	SX01	鉢D2	—	—	—	
435	63Bc-E-25	SX01	鉢D3	—	—	—	
436	62B-E-14	SX01	鉢A1	—	—	—	
437	62B-E-13	SX01	壺	12.9	—	—	信楽
438	62B-E-12	SX01	壺	—	8.6	—	
439	62B-E-16	SX01	皿	9.8	—	—	青花
440	62B-E-17	SX01	皿	8.7	4.9	1.9	青花
441	62B-E-18	SX01	皿	9.8	5.4	2.2	青花
442	63Bc-E-23	SX01	皿	10.2	5.6	1.9	青花
443	62B-E-22	SX01	皿	—	9.0	—	青花
444	62B-E-20	SX01	皿	13.8	9.0	3.0	青花
445	62B-E-21	SX01	碗	14.2	—	—	青花
446	62B-E-19	SX01	碗	14.0	—	—	青花
447	63Bc-E-24	SX01	大皿	21.2	—	—	青花
448	62B-E-23	SX01	大皿	28.5	17.1	4.2	青花
449	62B-E-25	SX01	碗？	19.4	—	—	朝鮮製
450	62B-E-24	SX01	碗	22.7	—	—	白磁
451	62B-E-27	SX01	蓋	16.8	—	—	青磁
452	62B-E-26	SX01	碗	14.0	—	—	青磁
453	62B-E-29	SX01	鉢	—	—	—	青磁
454	62B-E-28	SX01	鉢	—	—	—	青磁
455	63Aa-E-4	SD01	土師質皿A1	4.5	3.0	0.9	
456	63Aa-E-5	SD01	土師質皿	10.3	4.1	2.3	
457	63Aa-E-8	SD01	土師質皿	10.9	—	—	
458	63Aa-E-6	SD01	土師質皿B4	12.0	6.8	2.1	
459	63Aa-E-7	SD01	土師質皿B4	12.1	6.4	2.1	
460	63Aa-E-9	SD01	皿D	10.8	3.9	2.5	
461	63Aa-E-1	SD01	皿B	10.4	5.2	3.2	
462	63Aa-E-3	SD01	椀C1	11.3	—	—	
463	63Aa-E-2	SD01	椀B1	11.0	—	—	
464	63Ac-E-14	SD02	鍋C	13.4	—	—	
465	63Ac-E-13	SD02	鍋C	14.5	—	—	
466	63Ac-E-10	SD02	碗	—	4.9	—	青花
467	63Ac-E-27	SD02	皿D	9.9	4.5	2.2	
468	63Ac-E-11	SD02	鉢D4	31.0	10.1	11.6	
469	63Ac-E-12	SD02	鍋B	39.0	—	—	
470	62A-E-19	SD03	土師質皿A2	6.2	2.3	1.0	
471	62A-E-20	SD03	土師質皿A2	6.4	2.1	1.2	
472	62A-E-29	SD03	土師質皿A2	6.4	2.4	1.2	
473	62A-E-32	SD03	土師質皿A2	6.4	2.1	1.3	
474	62A-E-33	SD03	土師質皿A2	6.2	1.2	1.2	
475	62A-E-35	SD03	土師質皿A2	6.4	2.4	1.1	
476	62A-E-36	SD03	土師質皿A2	6.4	2.6	1.1	
477	62A-E-37	SD03	土師質皿A2	6.4	2.3	1.4	
478	62A-E-40	SD03	土師質皿A2	6.6	2.1	1.1	
479	62A-E-148	SD03	土師質皿A2	6.6	5.8	1.2	
480	62A-E-27	SD03	土師質皿B1	8.0	3.1	2.0	
481	62A-E-45	SD03	土師質皿B1	7.6	4.2	1.5	
482	62A-E-149	SD03	土師質皿B1	8.0	4.4	1.6	
483	62A-E-21	SD03	土師質皿B1	7.8	4.0	1.8	
484	62A-E-119	SD03	土師質皿B1	8.1	4.6	1.6	
485	62A-E-16	SD03	土師質皿B3	10.6	5.8	2.2	
486	62A-E-126	SD03	土師質皿B3	10.7	5.9	2.1	
487	62A-E-102	SD03	土師質皿B3	10.8	5.5	2.0	
488	62A-E-28	SD03	土師質皿B3	10.6	6.1	2.1	
489	62A-E-22	SD03	土師質皿B3	11.2	5.8	2.2	
490	62A-E-118	SD03	土師質皿B3	11.1	6.0	2.2	
491	62A-E-54	SD03	土師質皿B3	11.2	5.3	2.2	
492	62A-E-123	SD03	土師質皿B3	11.1	5.5	2.3	

遺物番号	登録番号	遺構	器種	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)	備考
493	62A-E-130	SD03	土師質皿B3	11.3	6.4	2.0	
494	62A-E-113	SD03	土師質皿B3	11.2	4.8	2.0	
495	62A-E-121	SD03	土師質皿B3	12.1	6.6	2.3	
496	62A-E-124	SD03	土師質皿B3	11.6	6.5	2.3	
497	62A-E-48	SD03	土師質皿B3	12.3	5.6	2.8	
498	62A-E-49	SD03	土師質皿B3	11.8	5.4	2.5	
499	62A-E-25	SD03	土師質皿B3	11.0	5.6	2.6	
500	62A-E-112	SD03	土師質皿B3	11.6	5.0	2.0	
501	62A-E-51	SD03	土師質皿B3	11.4	5.8	1.9	
502	62A-E-17	SD03	土師質皿B4	12.4	5.7	2.6	
503	62A-E-46	SD03	土師質皿B4	12.4	6.5	2.5	
504	62A-E-147	SD03	土師質皿B4	12.3	5.2	2.6	
505	62A-E-13	SD03	土師質皿B4	12.4	3.3	2.3	
506	62A-E-8	SD03	土師質皿B4	12.4	6.8	2.7	
507	62A-E-55	SD03	土師質皿B4	12.2	6.6	2.7	
508	62A-E-50	SD03	土師質皿B4	12.4	5.8	2.4	
509	62A-E-158	SD03	土師質皿B5	14.6	6.8	3.0	
510	62A-E-43	SD03	土師質皿B5	14.0	7.5	2.8	
511	62A-E-42	SD03	土師質皿B5	14.6	7.9	2.7	
512	62A-E-24	SD03	土師質皿B5	14.4	6.5	2.8	
513	62A-E-108	SD03	土師質皿B5	14.1	7.5	2.6	
514	62A-E-44	SD03	土師質皿B6	15.5	7.8	3.2	
515	62A-E-41	SD03	土師質皿B6	15.5	7.5	3.5	
516	62A-E-99	SD03	土師質皿B5	14.8	8.2	2.5	
517	62A-E-105	SD03	土師質皿B5	14.3	9.2	2.2	
518	62A-E-157	SD03	土師質皿B5	13.9	6.3	2.5	
519	62A-E-98	SD03	土師質皿B5	14.4	6.9	2.5	
520	62A-E-96	SD03	土師質皿B5	14.0	6.4	2.4	
521	62A-E-146	SD03	土師質皿B5	14.0	7.4	2.9	
522	62A-E-52	SD03	土師質皿B7	16.9	8.2	3.0	
523	62A-E-57	SD03	土師質皿B7	16.6	8.0	3.5	
524	62A-E-150	SD03	椀B1	12.4	—	—	
525	63Bc-E-3	SD03	椀B1	11.8	—	—	
526	63Bc-E-11	SD03	椀B1	11.5	—	—	
527	63Bc-E-20	SD03	椀B1	11.9	—	—	
528	63Bc-E-12	SD03	椀B1	11.7	—	—	
529	63Bc-E-4	SD03	椀B1	10.8	4.4	6.3	
530	63Bc-E-21	SD03	椀B1	12.4	—	—	
531	62A-E-61	SD03	椀B1	11.8	4.3	5.4	
532	63Bc-E-19	SD03	椀B1	11.1	4.1	6.0	
533	63Bc-E-14	SD03	椀C3	13.8	7.0	3.5	
534	62A-E-154	SD03	椀C5	12.5	—	—	
535	62A-E-5	SD03	椀C2	13.5	—	—	
536	62A-E-153	SD03	椀C2	14.8	—	—	
537	63Bc-E-13	SD03	鉢C1	8.1	6.2	5.0	香炉
538	63Bc-E-5	SD03	壺E	4.2	4.4	7.0	茶入
539	63Bc-E-8	SD03	壺D	4.1	4.6	7.0	水注
540	63Bc-E-9	SD03	壺D	4.8	4.5	6.9	水注
541	62A-E-56	SD03	壺B	9.4	9.6	19.3	
542	63Bc-E-7	SD03	壺B	10.5	9.2	17.7	
543	63Bc-E-15	SD03	碗	13.4	4.4	7.0	青磁
544	62A-E-156	SD03	鉢	—	—	—	青磁
545	62A-E-2	SD03	鉢A2	31.0	13.0	11.7	
546	63Bc-E-17	SD03	鉢A2	39.4	—	—	
547	62A-E-9	SD03	鉢A3	—	11.0	—	
548	62A-E-152	SD03	鉢D2	—	—	—	
549	62A-E-155	SD03	鉢D3	—	—	—	
550	62A-E-90	SD03	鉢D3	31.1	—	—	
551	62A-E-3	SD03	鍋A	21.2	—	—	
552	63Bc-E-6	SD03	鍋C	11.2	5.3	16.0	
553	63Bc-E-1	SD03	鈴	—	—	2.5	
554	63Bc-E-2	SD03	鈴	—	—	4.6	
555	62A-E-6	SD03	鈴	—	—	4.5	
556	62A-E-144	SD04	土師質皿B4	12.8	6.8	2.4	
557	62A-E-145	SD04	壺	—	16.0	—	青磁

遺物番号	登録番号	遺構	器種	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)	備考
558	62A-E-137	SD05	土師質皿A2	6.6	5.4	1.1	
559	62A-E-138	SD05	土師質皿B1	8.4	4.4	1.9	
560	62A-E-139	SD05	土師質皿B5	14.4	7.1	2.9	
561	62A-E-12	SD05	土師質皿B5	14.2	6.4	2.9	
562	62A-E-141	SD05	鉢A3	36.0	—	—	
563	62A-E-58	SD05	鉢C2	10.0	5.8	5.0	
564	62A-E-60	SD05	壺D	—	4.6	—	
565	62A-E-140	SD05	皿C3	—	6.2	—	灰釉
566	62A-E-142	SD05	碗	13.0	—	—	青花
567	62A-E-143	SD05	碗	—	—	—	青花
568	62A-E-59	SK03	鉢C3	5.4	4.0	3.6	
569	62A-E-67	SK03	土師質皿A2	6.9	1.1	1.7	
570	62A-E-87	SK03	土師質皿A2	7.6	3.5	1.5	
571	62A-E-78	SK03	土師質皿A2	7.8	4.5	1.4	
572	62A-E-89	SK03	土師質皿A2	7.6	4.0	1.5	
573	62A-E-84	SK03	土師質皿A2	8.2	4.9	1.5	
574	62A-E-86	SK03	土師質皿B3	10.6	5.0	2.3	
575	62A-E-76	SK03	土師質皿B3	10.6	4.0	2.15	
576	62A-E-64	SK03	土師質皿B3	10.9	5.0	2.2	
577	62A-E-66	SK03	土師質皿B3	11.0	5.4	2.3	
578	62A-E-63	SK03	土師質皿B3	11.7	5.1	2.2	
579	62A-E-79	SK03	土師質皿B3	11.0	5.5	2.2	
580	62A-E-80	SK03	土師質皿B3	11.4	5.0	2.2	
581	62A-E-68	SK03	土師質皿B4	13.1	6.6	2.8	
582	62A-E-74	SK03	土師質皿B4	13.4	6.5	2.5	
583	62A-E-65	SK03	土師質皿B5	14.6	4.2	3.0	
584	62A-E-81	SK03	土師質皿B6	15.8	7.6	3.0	
585	62A-E-82	SK03	土師質皿B7	17.0	9.1	3.0	
586	62A-E-77	SK03	土師質皿B8	21.8	11.6	3.0	
587	89AB-E-47	SD06	土師質皿B1	7.8	3.6	1.5	
588	89AB-E-46	SD06	土師質皿B2	9.0	4.4	1.6	
589	89AB-E-48	SD06	土師質皿B3	11.8	4.4	2.3	
590	89AB-E-1	SD06	土師質皿B3	11.0	6.0	2.1	
591	89AB-E-45	SD06	土師質皿B5	13.6	6.6	2.1	
592	89AB-E-16	SD06	土師質皿B5	14.0	6.7	3.0	
593	89AB-E-44	SD06	土師質皿B6	16.0	8.0	2.9	
594	89AB-E-56	SD06	土師質皿A2	7.6	3.1	1.5	
595	89AB-E-55	SD06	土師質皿B1	7.6	5.0	1.9	
596	89AB-E-54	SD06	土師質皿B2	9.0	5.0	1.6	
597	89AB-E-53	SD06	土師質皿B3	11.2	4.6	2.3	
598	89AB-E-50	SD06	土師質皿B4	12.3	6.8	2.1	
599	89AB-E-15	SD06	土師質皿B4	12.6	6.4	2.8	
600	89AB-E-52	SD06	土師質皿B6	15.4	8.0	2.7	
601	89AB-E-9	SD06	土師質皿B1	8.0	3.8	1.8	
602	89AB-E-10	SD06	土師質皿B1	7.8	4.2	1.9	
603	89AB-E-13	SD06	土師質皿B3	11.0	6.8	1.8	
604	89AB-E-63	SD06	土師質皿B3	11.2	5.8	2.1	
605	89AB-E-66	SD06	土師質皿B5	13.8	5.6	2.9	
606	89AB-E-65	SD06	土師質皿B5	13.8	7.3	3.0	
607	89AB-E-49	SD06	土師質皿B6	15.2	7.6	3.0	
608	89AB-E-43	SD06	土師質皿B4	13.0	7.0	2.7	
609	89AB-E-42	SD06	土師質皿B6	15.2	7.4	2.8	
610	89AB-E-41	SD06	土師質皿B6	15.3	8.2	2.8	
611	89AB-E-7	SD06	土師質皿A2	6.0	2.9	1.3	
612	89AB-E-8	SD06	土師質皿B1	7.6	3.8	1.8	
613	89AB-E-12	SD06	土師質皿B1	8.2	4.0	1.8	
614	89AB-E-71	SD06	土師質皿B2	9.5	3.6	2.4	
615	89AB-E-37	SD06	土師質皿B3	10.8	6.0	1.9	
616	89AB-E-28	SD06	土師質皿B3	10.8	5.0	2.3	
617	89AB-E-70	SD06	土師質皿B6	15.2	7.3	2.9	
618	89AB-E-31	SD06	土師質皿B6	15.1	8.2	2.8	
619	89AB-E-79	SD06	椀B1	11.2	—	—	
620	89AB-E-75	SD06	椀B1	12.8	—	—	
621	89AB-E-84	SD06	椀B1	12.7	—	—	
622	89AB-E-4	SD06	椀B3	—	4.4	—	

遺物番号	登録番号	遺構	器種	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)	備考
623	89AB-E-76	SD06	碗C1	16.8	—	—	
624	89AB-E-77	SD06	皿B	12.2	—	—	
625	89AB-E-99	SD06	皿B	12.7	5.4	2.8	
626	89AB-E-85	SD06	椀C2	14.9	—	—	
627	89AB-E-82	SD06	皿	12.1	—	—	青磁
628	89AB-E-78	SD06	碗	20.6	—	—	青磁
629	89AB-E-23	SD06	鉢A3	27.4	11.8	8.9	
630	89AB-E-73	SD06	鉢D2	29.0	—	—	
631	89AB-E-74	SD06	鉢D3	29.8	9.8	12.0	
632	89AB-E-87	SD06	鉢D4	26.8	—	—	
633	89AB-E-88	SD06	鈴	—	—	4.3	
634	89AB-E-80	SD06	?	—	—	—	
635	89AB-E-93	SD07	土師質皿B1	7.3	4.2	1.7	
636	89AB-E-92	SD07	土師質皿B2	9.8	3.6	2.8	
637	89AB-E-90	SD07	皿D	9.9	4.6	2.5	
638	89AB-E-94	SD07	皿C3	10.2	3.6	1.9	
639	89AB-E-97	SD07	碗	16.0	—	—	青磁
640	89AB-E-101	SD19	椀B1	11.8	—	—	
641	89AB-E-102	SD19	椀B1	12.1	—	—	
642	89AB-E-104	SD19	椀C4	16.0	3.0	5.3	
643	89AB-E-107	SD19	鉢D2	22.4	—	—	
644	89AB-E-106	SD19	鉢D3	26.6	—	—	
645	89AB-E-103	SD19	壺4	12.8	—	—	
646	89AB-E-72	SD15	鍋A	24.5	4.3	13.9	
647	89AB-E-24	SD15	鉢D1	20.4	10.2	11.8	
648	89AB-E-25	SD15	鉢	13.8	14.4	7.5	瓦質、火鉢か
649	89AB-E-26	SD15	鉢	28.3	31.8	17.0	瓦質、火鉢
650	89C-E-14	SD08	土師質皿A2	6.2	4.6	0.9	
651	89C-E-12	SD08	土師質皿A2	5.4	—	1.2	
652	89C-E-4	SD08	土師質皿A2	6.2	—	1.2	
653	89C-E-13	SD08	土師質皿A2	5.8	5.0	1.0	
654	89C-E-8	SD08	土師質皿B2	9.0	3.6	2.0	
655	89C-E-26	SD08	椀B1	12.0	—	—	
656	89C-E-25	SD08	椀B1	12.0	—	—	
657	89C-E-24	SD08	椀B1	11.4	4.4	—	
658	89C-E-23	SD08	椀B1	12.6	—	—	
659	89C-E-29	SD08	椀B1	—	4.8	—	
660	89C-E-27	SD08	椀B2	—	4.8	—	
661	89C-E-28	SD08	椀B2	—	4.4	—	
662	89C-E-30	SD08	椀D1	—	5.4	—	
663	89C-E-16	SD08	皿D	10.1	4.1	—	
664	89C-E-1	SD08	皿D	10.2	4.8	2.7	
665	89C-E-17	SD08	皿D	9.9	5.1	2.5	
666	89C-E-18	SD08	皿C1	10.6	5.8	2.5	
667	89C-E-22	SD08	皿C4	12.1	5.5	2.5	
668	89C-E-20	SD08	皿C2	—	5.9	—	
669	89C-E-21	SD08	皿C2	—	9.1	—	
670	89C-E-36	SD08	壺A	—	15.2	—	
671	89C-E-6	SD08	皿	21.6	—	—	白磁
672	89C-E-5	SD08	皿	—	7.8	—	白磁
673	89C-E-2	SD08	壺C	16.6	—	—	
674	89C-E-34	SD08	鉢D2	27.4	—	—	
675	89C-E-35	SD08	鉢D	—	8.8	—	
676	89C-E-10	SD08	碗	—	5.4	—	青花
677	89C-E-9	SD08	皿	—	2.8	—	青花
678	89C-E-32	SD08	瓶	—	14.0	—	
679	89Ea-E-4	SD09	皿C1	—	5.1	—	灰釉
680	89Ea-E-1	SD09	碗	—	4.8	—	青磁
681	89Ea-E-5	SD09	瓶	—	10.4	—	
682	89F-E-63	SD10	椀B1	12.4	—	—	
683	89F-E-16	SD10	椀B1	12.0	3.9	6.7	
684	89F-E-61	SD10	皿B	8.8	—	—	
685	89F-E-36	SD10	皿C3	—	6.5	—	
686	89F-E-62	SD10	壺E	4.8	—	—	
687	89F-E-35	SD10	椀D2	—	4.4	—	

遺物番号	登録番号	遺構	器種	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)	備考
688	89F-E-15	SD10	甕	47.4	—	—	常滑
689	89F-E-64	SD10	鉢D3	32.4	—	—	
690	89F-E-54	SD20	土師質皿A2	6.2	5.4	1.1	
691	89Eb-E-2	SD20	椀B1	11.4	—	—	
692	89F-E-70	SD20	土師質皿B5	14.0	4.8	—	
693	T.T.1	SD20	鍋A				
694	89F-E-28	SD21	椀B3	12.4	—	—	
695	89F-E-66	SD21	椀B3	—	4.0	—	
696	89F-E-27	SD21	椀B3	11.8	3.9	—	
697	89F-E-65	SD21	皿D	9.4	2.0	—	
698	89F-E-32	SD21	皿D	10.5	3.2	—	
699	89F-E-26	SD21	土師質皿A2	7.6	—	—	
700	89F-E-30	SD21	壺C	13.0	—	—	
701	89F-E-29	SD21	鉢B	19.2	—	—	
702	89F-E-46	SD21	鉢D2	28.8	6.5	13.2	
703	89F-E-33	SD21	甕	37.0	—	—	常滑
704	89Gb-E-1	SD23	椀B1	11.0	3.8	6.9	
705	90B-E-1	SD29	椀B1	11.8	—	—	

木製品

遺物番号	登録番号	遺構	器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	備考
706	63Aa-W-1	SD01	地蔵菩薩像	6.8	2.1	0.9	
707	63Aa-W-2	SD01	椀	14.6	8.2	10.0	
708	62A-W-22	SD03	人形	4.6	1.6	1.0	
709	63Bc-W-1	SD03	人形	7.4	1.4	0.2	
710	62A-W-24	SD03	人形	7.0	2.0	0.35	
711	62A-W-23	SD03	人形	6.3	1.5	1.3	
712	62B-W-1	SD03	人形	21.6	1.5	1.5	
713	63Bc-W-2	SD03	獅子頭	4.8	3.8	2.0	
714	63Bc-W-3	SD03	獅子頭	5.5	4.4	0.8	
715	62A-W-29	SD03	?	3.8	1.9	1.4	
716	62A-W-25	SD03	呪符木簡	6.2	2.3	1.0	
717	63Bc-W-4	SD03	呪簡木簡	22.2	2.4	1.0	
718	62A-W-26	SD03	呪符木簡	20.3	2.2	0.3	
719	63Bc-W-6	SD03	へら	11.2	2.8	0.3	
720	63Bc-W-5	SD03	へら	9.7	2.4	0.25	
721	62A-W-27	SD03	へら	10.3	3.0	0.3	
722	62A-W-28	SD03	へら	15.8	3.2	0.3	
723	62A-W-32	SD03	刀形	—	2.2	1.55	
724	63Bc-W-9	SD03	へら	17.1	1.9	0.5	
725	63Bc-W-8	SD03	へら	13.0	0.9	0.5	
726	63Bc-W-10	SD03	へら	16.0	4.4	1.8	
727	63Bc-W-7	SD03	へら	16.1	2.2	0.3	
728	63Bc-W-15	SD03	へら	11.3	1.25	0.3	
729	63Bc-W-12	SD03	へら	20.3	1.1	0.5	
730	63Bc-W-14	SD03	へら	12.8	0.7	0.2	
731	63Bc-W-13	SD03	へら	16.3	1.4	0.5	
732	63Bc-W-11	SD03	へら	19.0	1.5	0.4	
733	63Bc-W-16	SD03	?	16.2	2.5	1.0	
734	62A-W-30	SD03	?	8.6	2.2	1.0	
735	63Bc-W-32	SD03	鳥籠?	10.9	0.65	0.3	
736	63Bc-W-31	SD03	鳥籠?	9.2	0.65	0.35	
737	63Bc-W-33	SD03	鳥籠?	8.6	0.9	0.3	
738	63Bc-W-34	SD03	鳥籠?	17.6	0.8	0.4	
739	63Bc-W-35	SD03	鳥籠?	20.5	2.3	0.5	
740	63Bc-W-17	SD03	?	8.6	2.7	0.9	
741	63Bc-W-18	SD03	?	15.5	1.9	1.7	
742	62A-W-46	SD03	栓	3.2	3.4	2.1	
743	62B-W-4	SD03	下駄	20.8	8.6	3.9	露卯下駄
744	62A-W-50	SD03	下駄	21.0	8.2	3.3	露卯下駄
745	62A-W-37	SD03	椀	—	—	—	鶴亀文
746	63Bc-W-20	SD03	椀	7.5	4.0	2.5	
747	62A-W-36	SD03	椀	8.5	5.0	2.7	
748	63Bc-W-21	SD03	椀	8.8	5.5	2.9	
749	63Bc-W-22	SD03	?	7.7	7.2	1.8	黒漆塗り

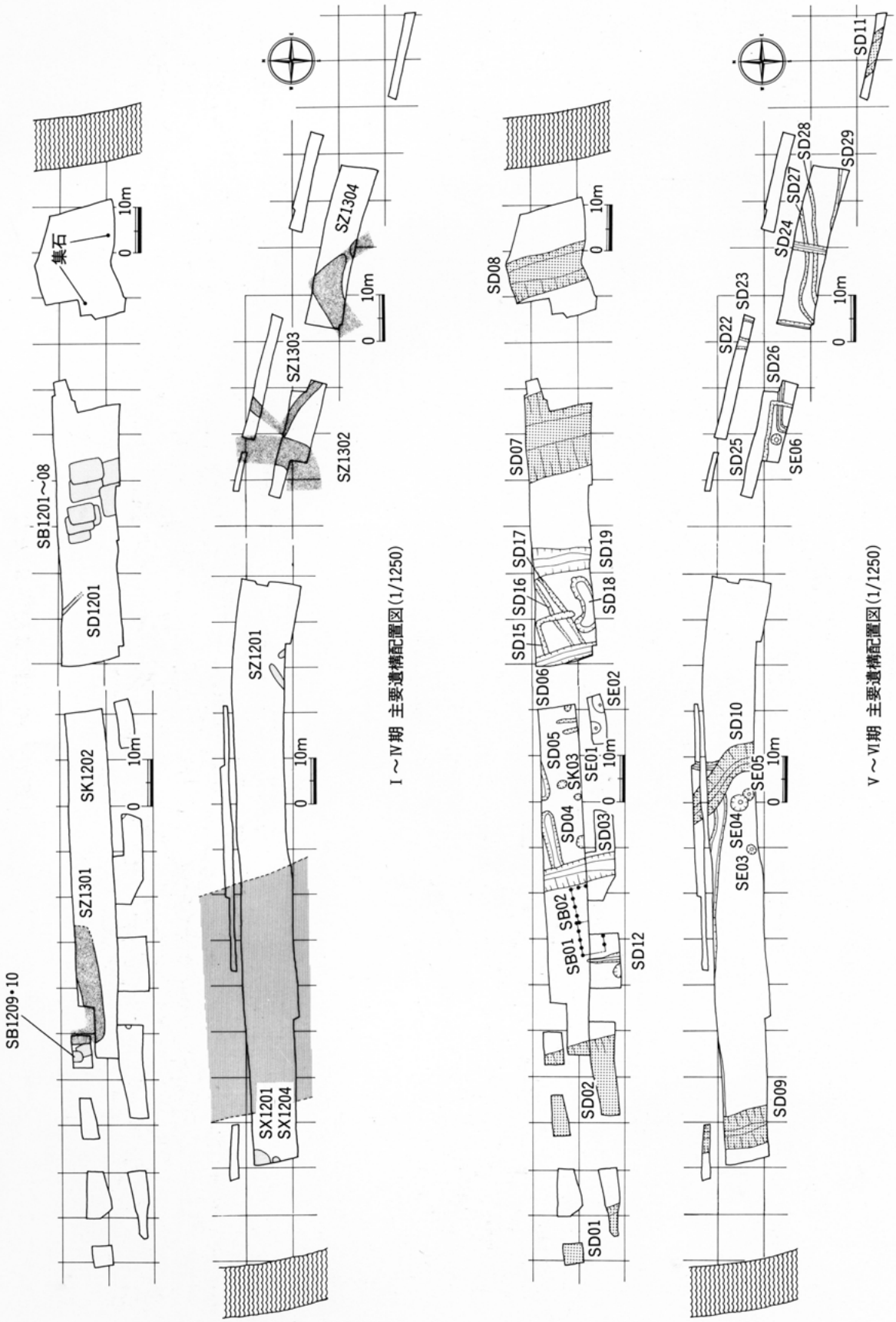
遺物番号	登録番号	遺構	器種	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)	備考
750	62A-W-33	SD03	しゃもじ	18.0	6.5	0.3	
751	62A-W-34	SD03	箸	24.8	0.6	0.45	
752	62A-W-35	SD03	箸	17.7	0.5	0.5	
753	62A-W-49	SD03	櫛	7.8	1.7	1.2	
754	62A-W-41	SD03	茶筅	7.8	3.5	1.3	
755	62A-W-2	SD03	茶筅	7.3	3.7	1.5	
756	62A-W-43	SD03	柄杓	34.7	1.0	7.2	
757	62A-W-40	SD03	折敷	35.4	11.2	0.3	
758	62A-W-39	SD03	折敷	7.4	7.4	0.6	
759	63Bc-W-25	SD03	折敷	6.5	6.5	0.5	
760	62A-W-31	SD03	折敷	12.3	12.0	2.15	
761	62A-W-42	SD03	曲物底板	4.5	2.1	0.6	
762	63Bc-W-26	SD03	曲物底板	4.2	3.0	0.4	
763	63Bc-W-27	SD03	折敷	6.6	4.1	0.5	
764	62A-W-38	SD03	折敷	3.6	10.5	0.15	
765	62A-W-44	SD03	底杯	10.0	3.6	0.5	
766	63Bc-W-28	SD03	底杯	10.7	6.6	0.45	
767	62A-W-45	SD03	底板	13.6	6.8	0.8	
768	63Bc-W-29	SD03	底板	20.4	5.3	0.2	
769	63Bc-W-30	SD03	桶側板	26.5	10.5	1.2	
770	62A-W-48	SD03	桶側板	15.0	10.3	1.9	
771	62A-W-16	SD04	鳥形	11.0	3.8	0.2	
772	62A-W-15	SD04	人形	12.2	1.0	1.4	
773	62A-W-17	SD04	へら	18.6	2.4	0.3	
774	62A-W-18	SD04	へら	16.5	2.6	0.2	
775	62A-W-20	SD04	柄	10.4	3.1	2.4	
776	62A-W-19	SD04	曲物	5.5	3.1	4.5	
777	62A-W-21	SD04	下駄	20.7	11.1	6.8	
778	62A-W-11	SD05	箸	29.0	0.8	0.6	
779	62A-W-12	SD05	箸	29.0	0.8	0.6	
780	62A-W-14	SD05	曲物	6.0	2.8	4.8	
781	62A-W-9	SD05	羽子板	37.5	3.0	0.8	
782	62A-W-10	SD05	?	8.4	1.5	0.2	
783	62A-W-6	SD05	折敷	4.85	10.7	0.1	
784	62A-W-7	SD05	折敷	11.5	12.0	0.2	
785	62A-W-8	SD05	絵馬	22.5	18.5	0.2	
786	62A-W-1	SD05	?	10.5	—	—	10.5cm角折数を利用
787	62A-W-3	SD05	?	21.7	—	—	21.7cm角折数を利用
788	62A-W-4	SD05	?	21.2	—	—	1.2cm角折数を利用
789	62A-W-2	SD05	?	21.2	—	—	21.2cm角折数を利用
790	62A-W-5	SD05	?	21.8	—	—	21.8cm角折数を利用
791	63Bd-W-36	SE02	楔	10.5	4.0	1.7	
792	63Bd-W-37	SE02	楔	10.2	3.5	2.0	
793	63Bd-W-38	SE02	底板	25.8	12.5	0.5	
794	89A・B-W-2	SD06	漆椀	—	—	—	
795	89A・B-W-3	SD06	漆椀	—	—	—	
796	89A・B-W-7	SD06	下駄	21.1	8.6	3.2	
797	89A・B-W-8	SD06	下駄	20.0	9.0	3.0	歯1枚残存
798	89A・B-W-6	SD06	桶側板	9.6	6.5	0.8	
799	89A・B-W-5	SD06	折敷	21.4	7.6	0.3	
800	89A・B-W-4	SD06	曲物	4.1	3.4	4.7	
801	89A・B-W-1	SD06	刀形	20.5	2.0	0.6	
802	89C-W-1	SD08	漆皿	—	4.8	—	
803	89AB-W-11	SD18	?	5.3	1.3	0.1	
804	89AB-W-12	SD18	?	5.1	1.3	0.1	
805	89AB-W-9	SD18	人形	12.7	3.1	0.7	
806	89AB-W-10	SD18	?	12.1	1.4	0.1	
807	89AB-W-13	SD18	下駄	17.0	9.5	3.7	

石製品

遺物番号	登録番号	遺構	器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	備考
808	89Ea-S-1	SD09	砥石	4.8	4.7	2.0	
809	89C-S-1	SD08	砥石	4.0	4.8	1.2	
810	63Bb-S-1	SD12	茶臼	19.2	18.6	10.7	直径18.6cm
811	89F-S-1	SD10	挽臼	32.0	32.0	6.4	直径32cm
812	89F-S-2	SD10	五輪塔	23.0	22.7	12.8	

図　版

図版 1　遺構図(1)



Ⅰ～Ⅳ期 主要遺構配置図(1/1250)

Ⅴ～Ⅵ期 主要遺構配置図(1/1250)

図版 2　遺構図(2)

上面（Ⅴ・Ⅵ期）主要部遺構配置図(1/500)

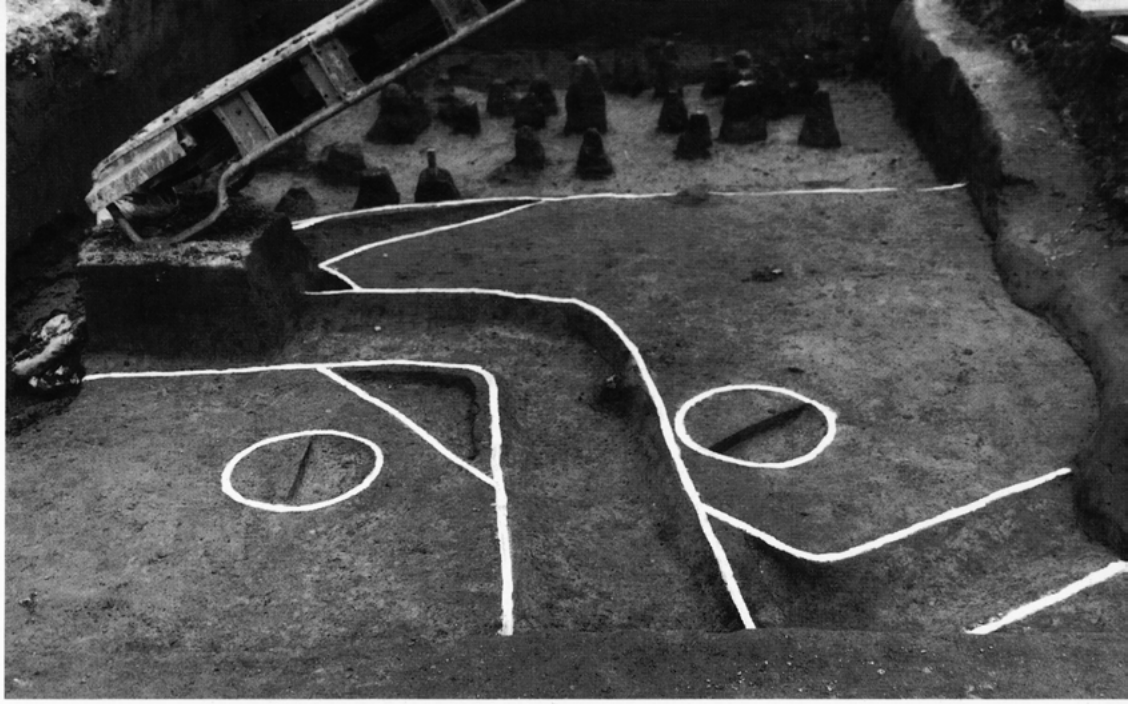
図版 3
Ⅰ期の遺構

1　縄文晩期の遺構全景
（西から）

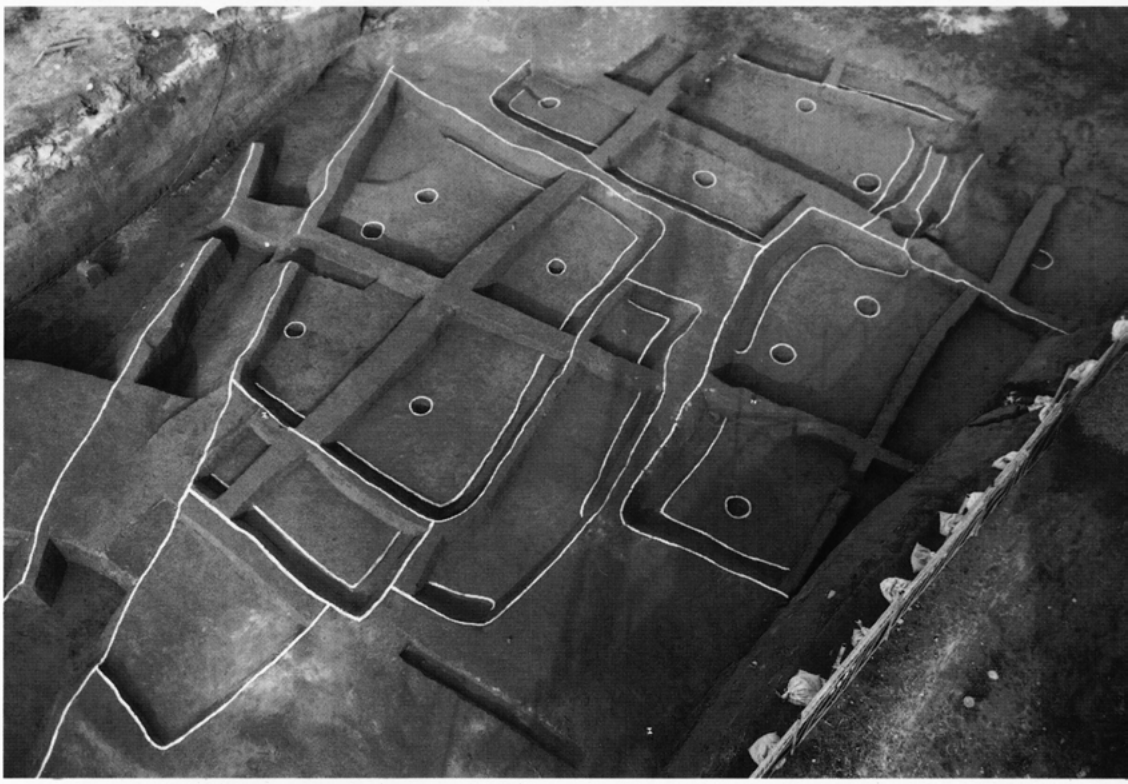
2　弥生中期の遺構全景
（東から）

3　SB1101・1102
（東から）

図版 4
II期の遺構(1)



1　SB1209・1210
（西から）



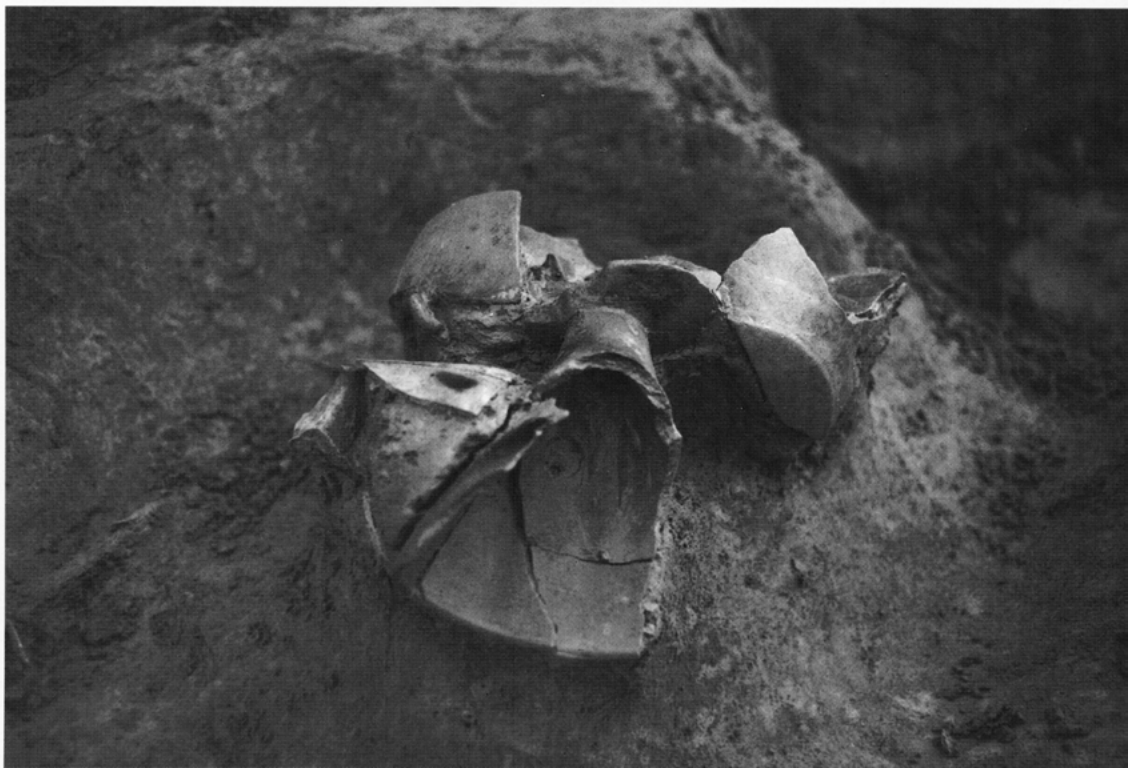
2　SB1201～1208全景
（南西から）

3　SB1204遺物出土状況
（南から）

図版 5
II期の遺構(2)

1　89C区集石遺構
（南から）

2　SZ1201
（北から）



9　SZ1201遺物出土状況
（西から）

図版 6
II期の遺構(3)

1　SX1201・SK1204全景
（西から）

2　SX1201遺物出土状態
（南から）

3　SX1201遺物出土状態
（南から）

図版 7
II期の遺物出土状態

1　SX1201遺物出土状態
（西から）

2　SK1204 S 字甕出土状態
（西から）

3　S 字甕出土状況
（南から）

図版 8
Ⅲ期の遺構(1)

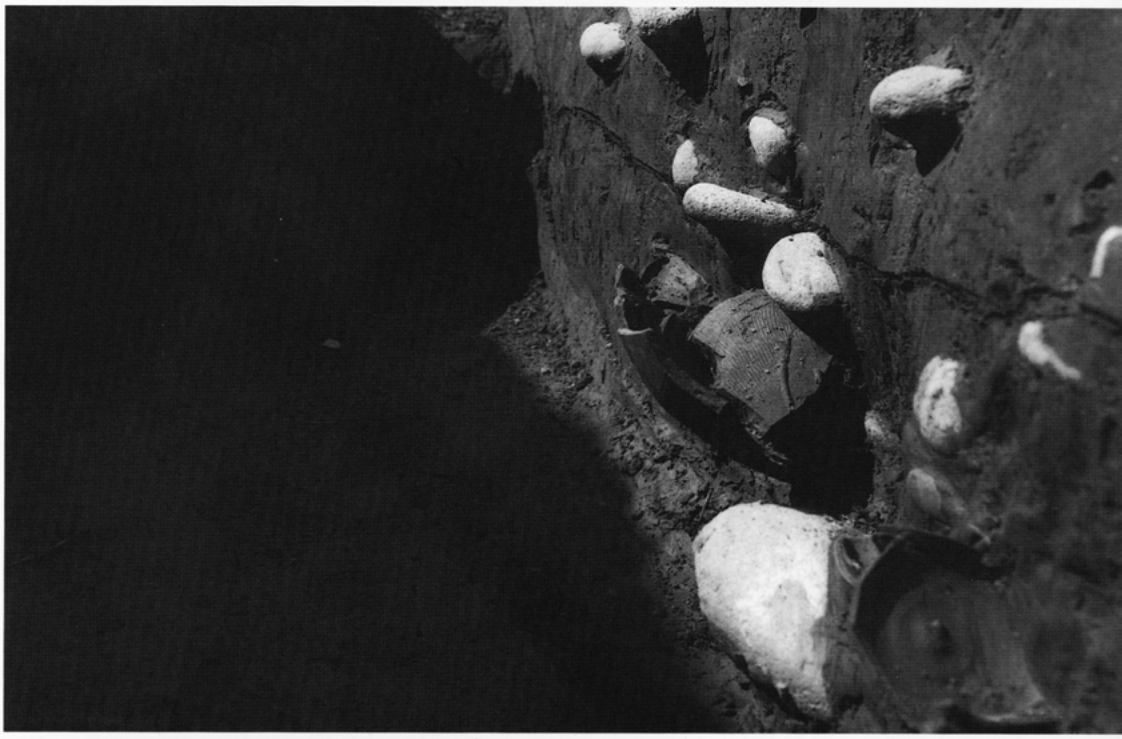
1　SZ1301
（西から）

2　SZ1301埴輪出土状況
（南から）

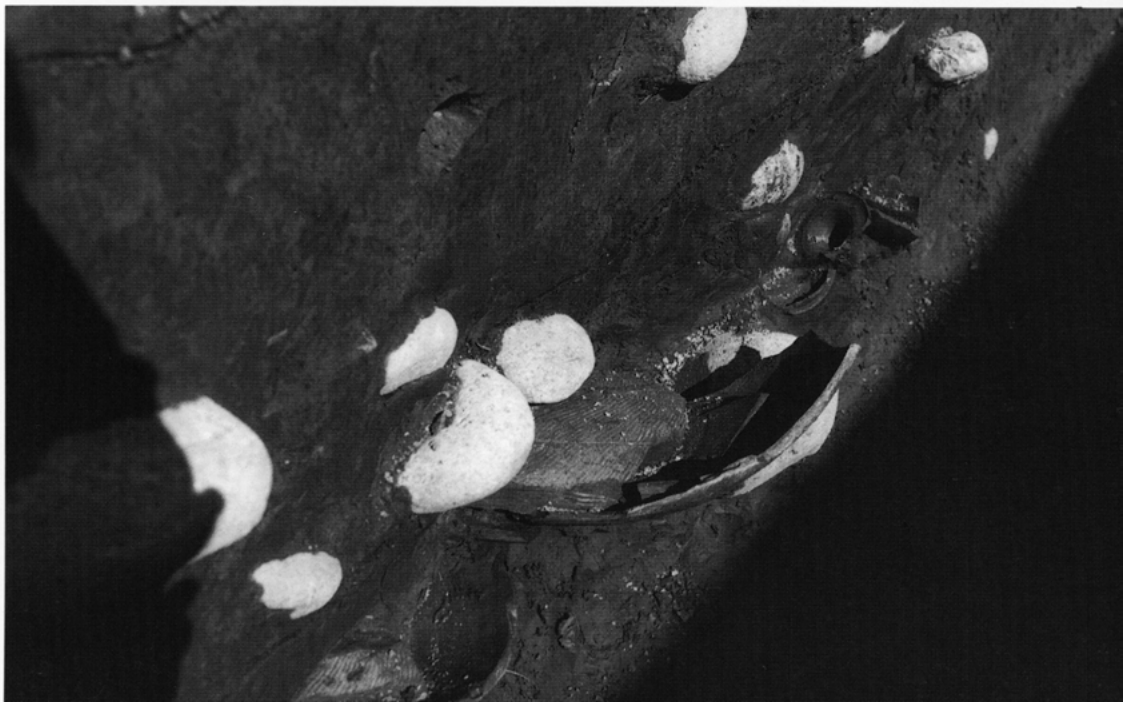
3　SZ1301金環出土状況
（西から）

図版 9
Ⅲ期の遺構(2)

1　SZ1302
（西から）



2　SZ1302遺物出土状況
（東から）



3　SZ1302遺物出針状況
（西から）

図版10
Ⅲ期の遺構(3)

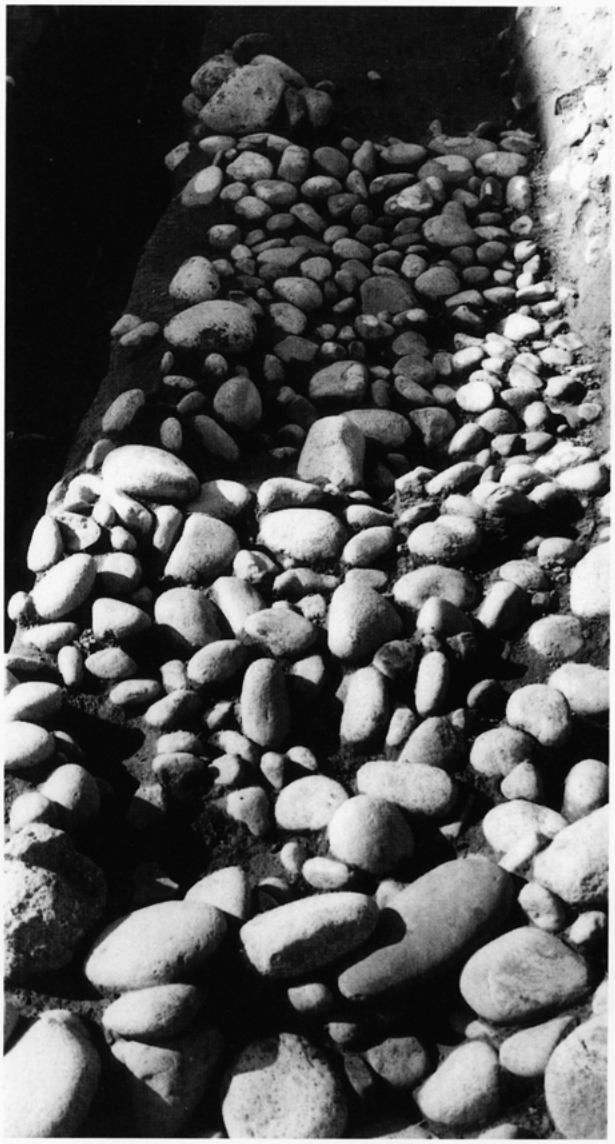
1　SZ1303
（南から）

2　SZ1303遺物出土状況
（北から）

3　SZ1304
（西から）

図版11
Ⅲ期の遺構(4)

1　集石墓群全景
（西から）

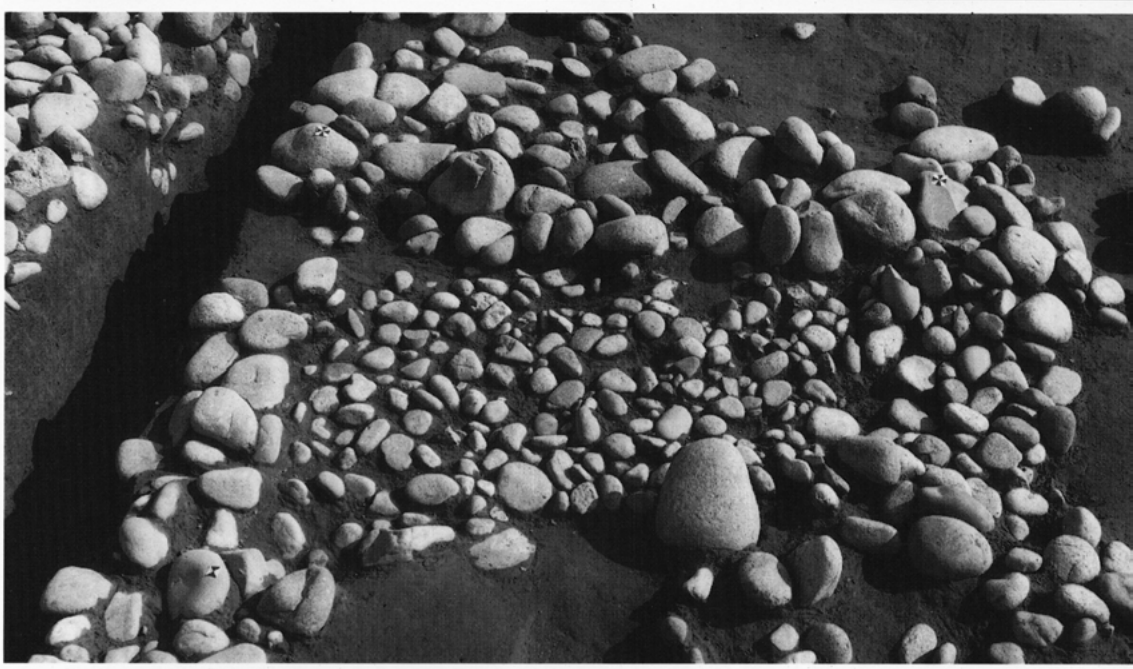


2左　SX1302
（東から）

3右　SX1305
（東から）

図版12
Ⅲ期の遺構(5)

1　SX1304
（北から）

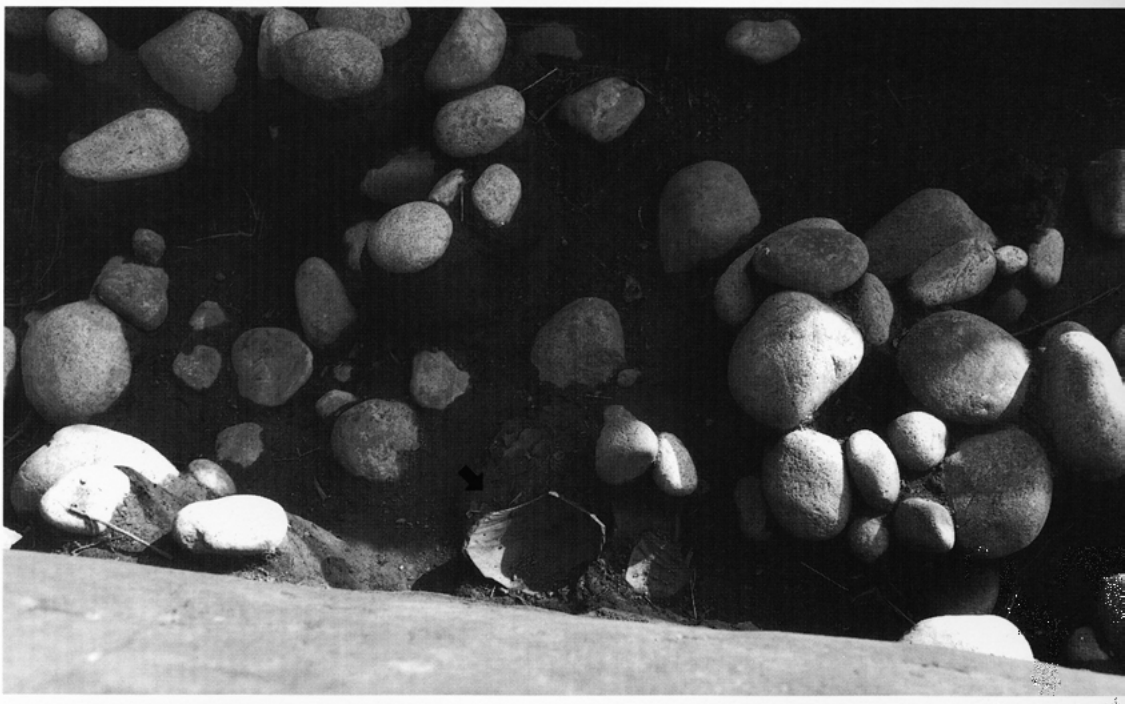


2　SX1304
（西から）

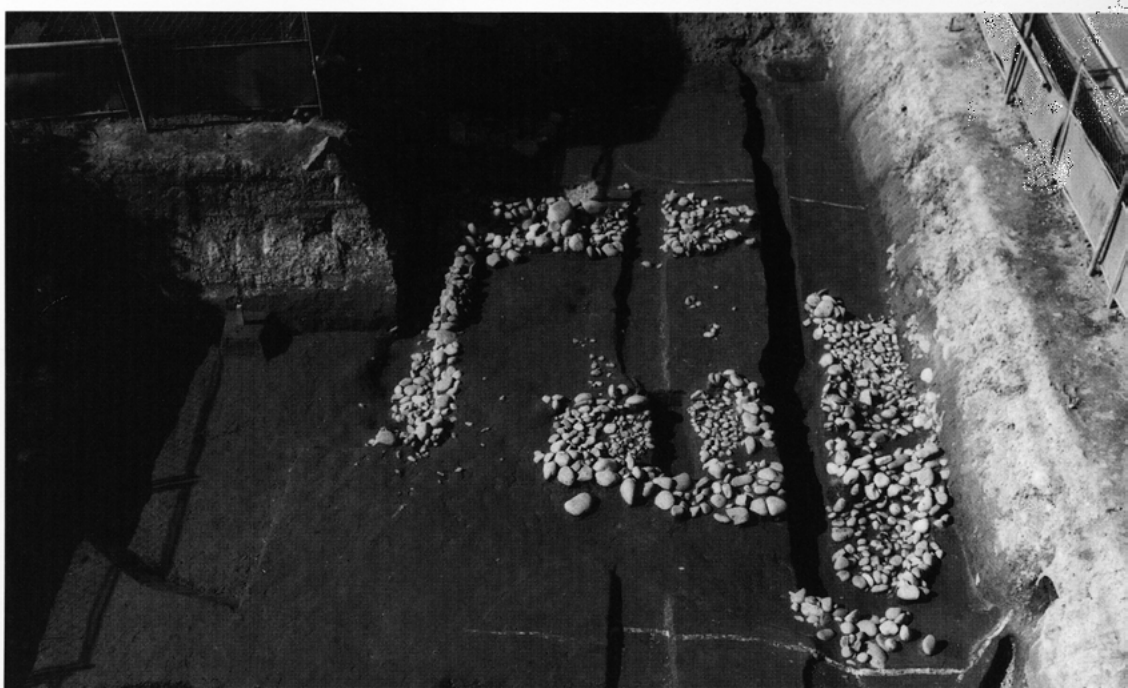
3　SX1303
（北から）

図版13
Ⅲ期の遺構(6)

1　SX1308
（西から）



2　SX1308遺物出土状態
（北から）



3　集石墓群完掘状態
（東から）

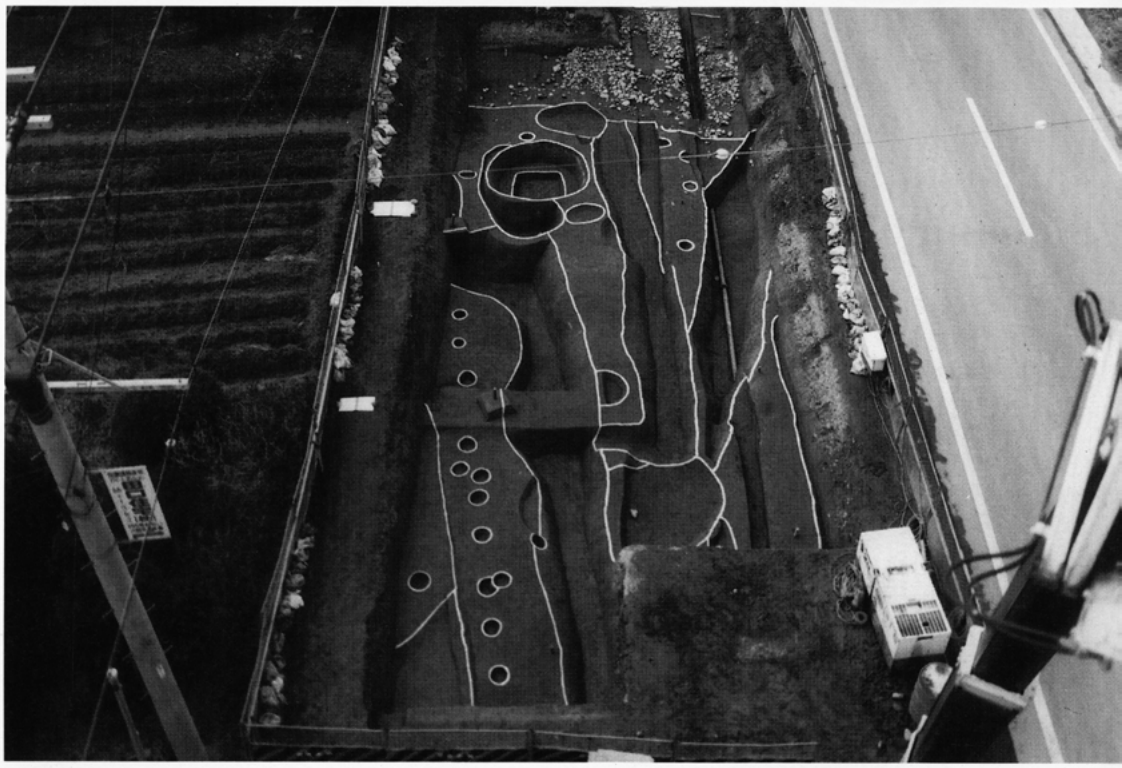
1　SX1501全景
（東から）

2　SX1501断面図
（東から）

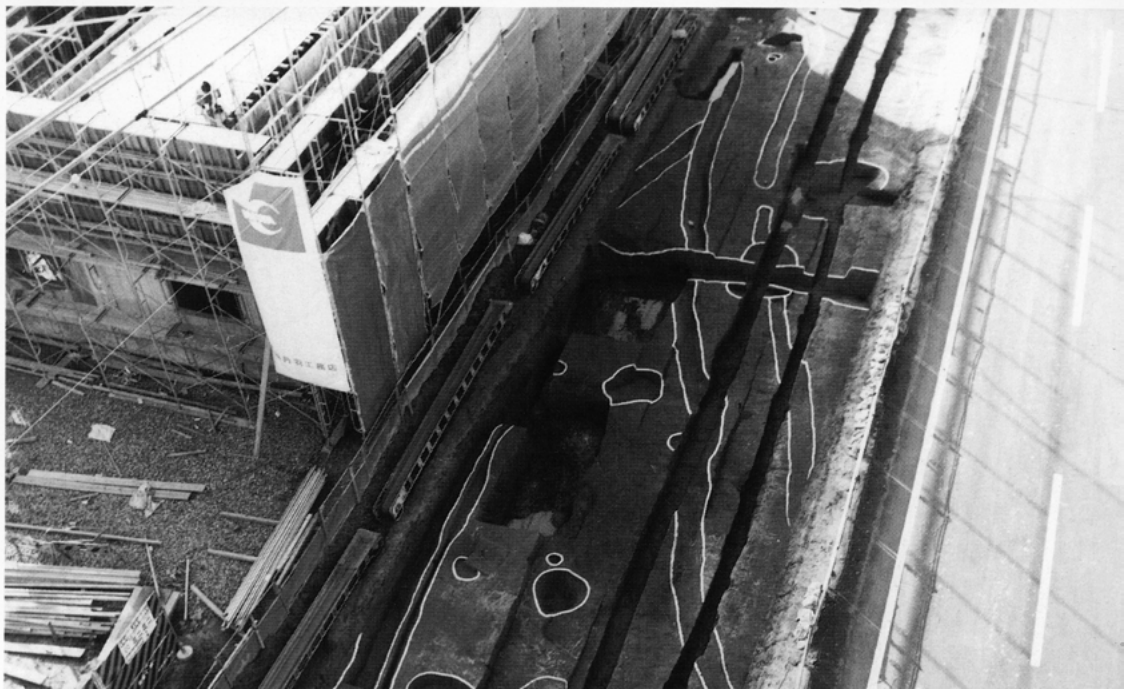
3　SX1501遺物出土状況
（東から）

図版15
V期の遺構(1)

1　SB01・02
（西から）

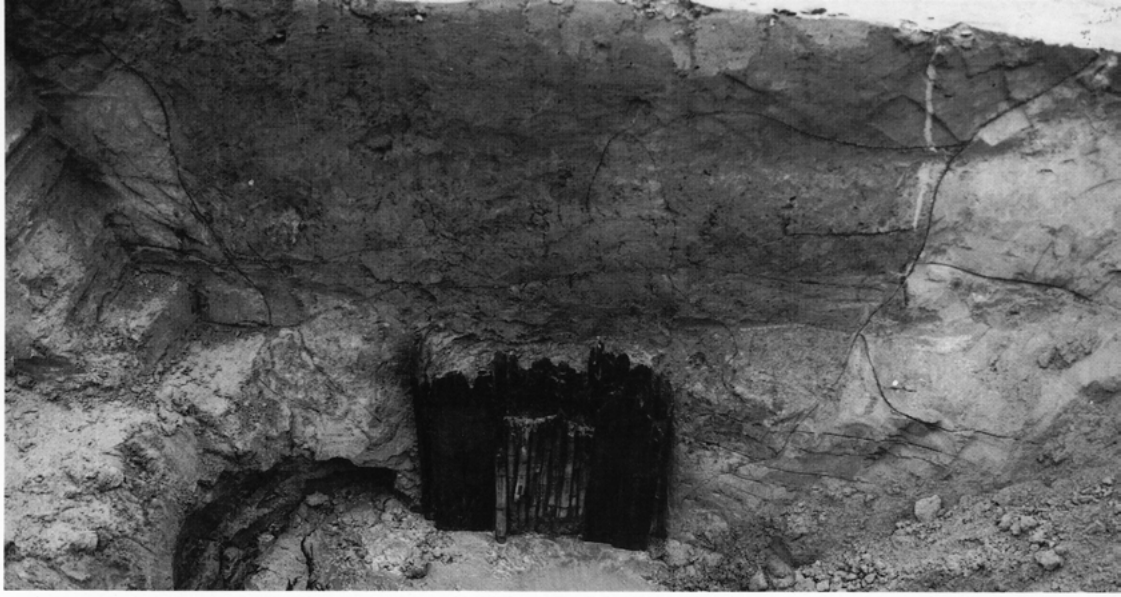


2　SD26
（東から）

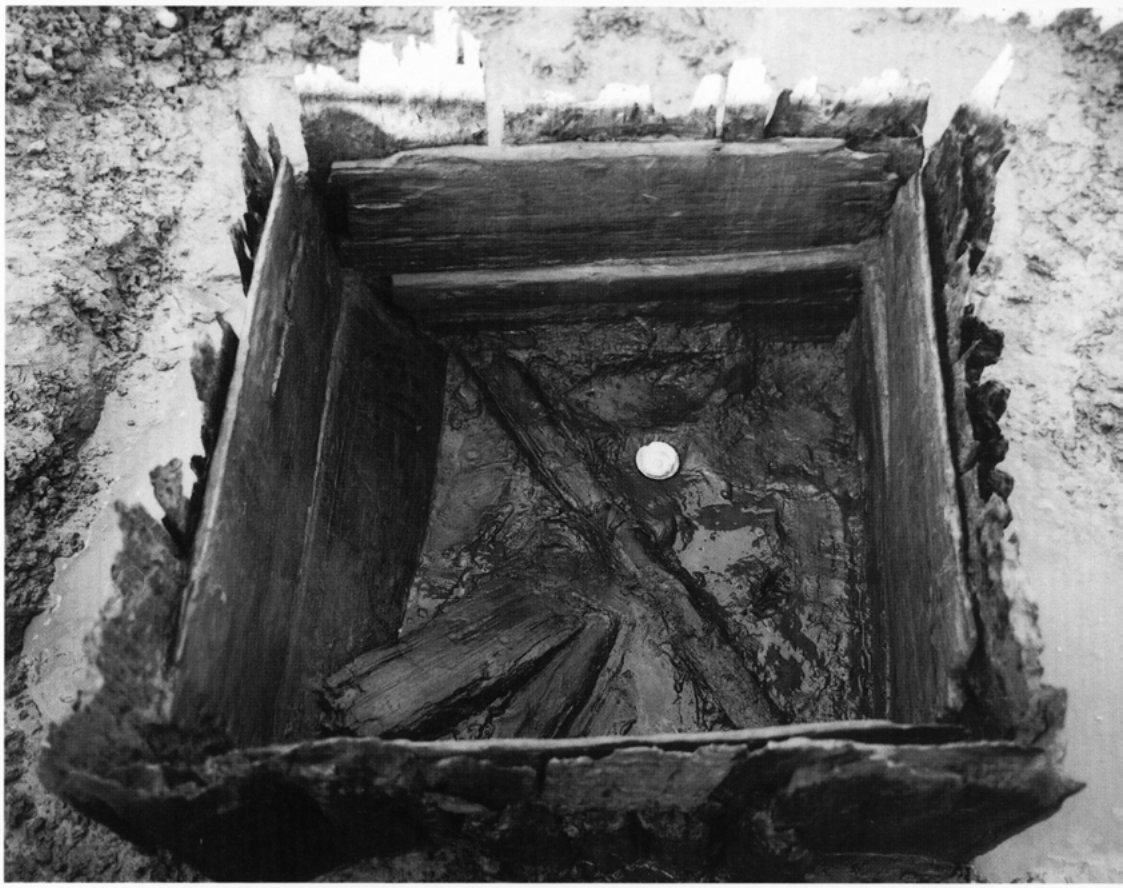


3　SD27・28
（東から）

図版16
Ⅴ期の遺構(2)



1　SE04
（北から）

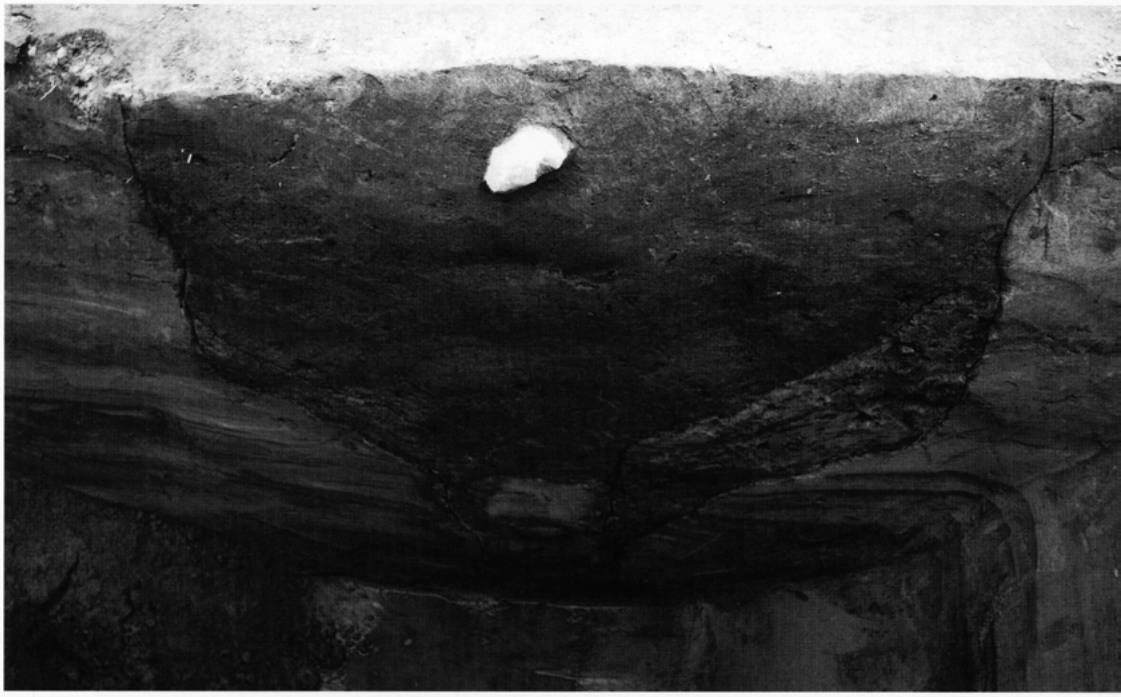


2　SE04
（西から）

3　SE04
（西から）

図版17
Ⅴ期・Ⅵ期の遺構

1　SE05
（北から）

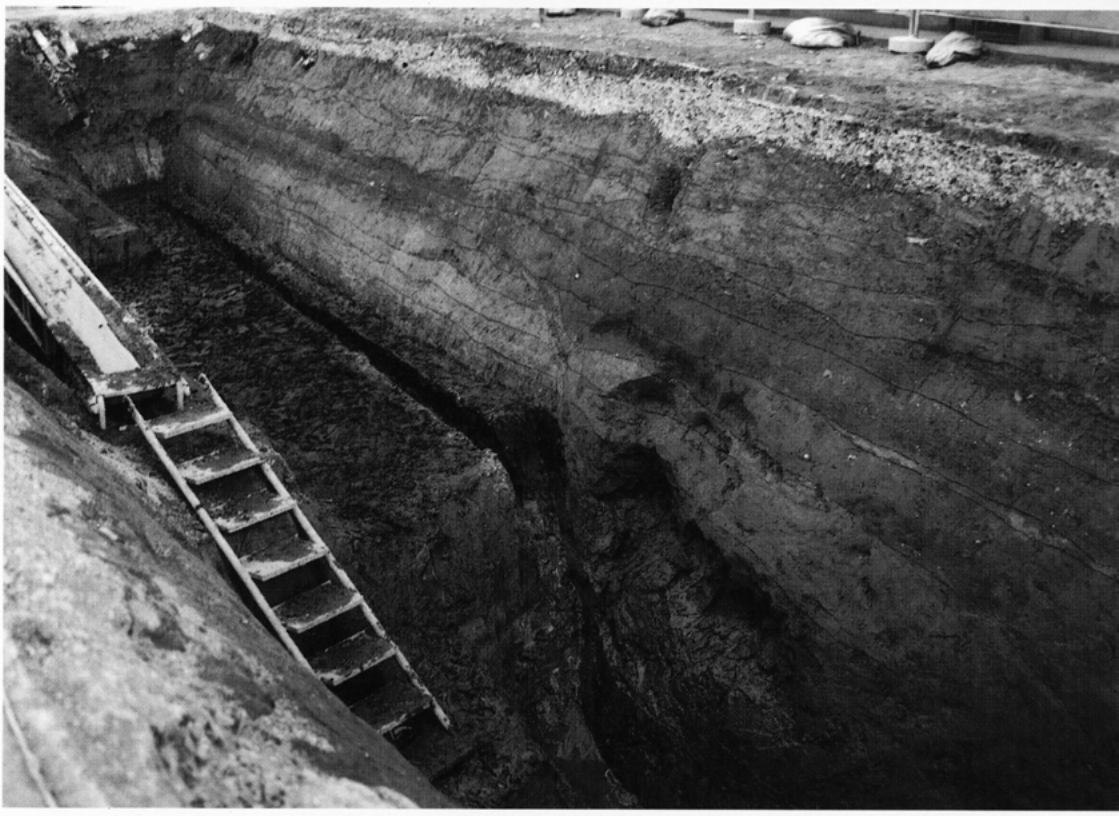


2　SE03
（南から）

3　SE06
（北から）

図版18
Ⅵ期の遺構

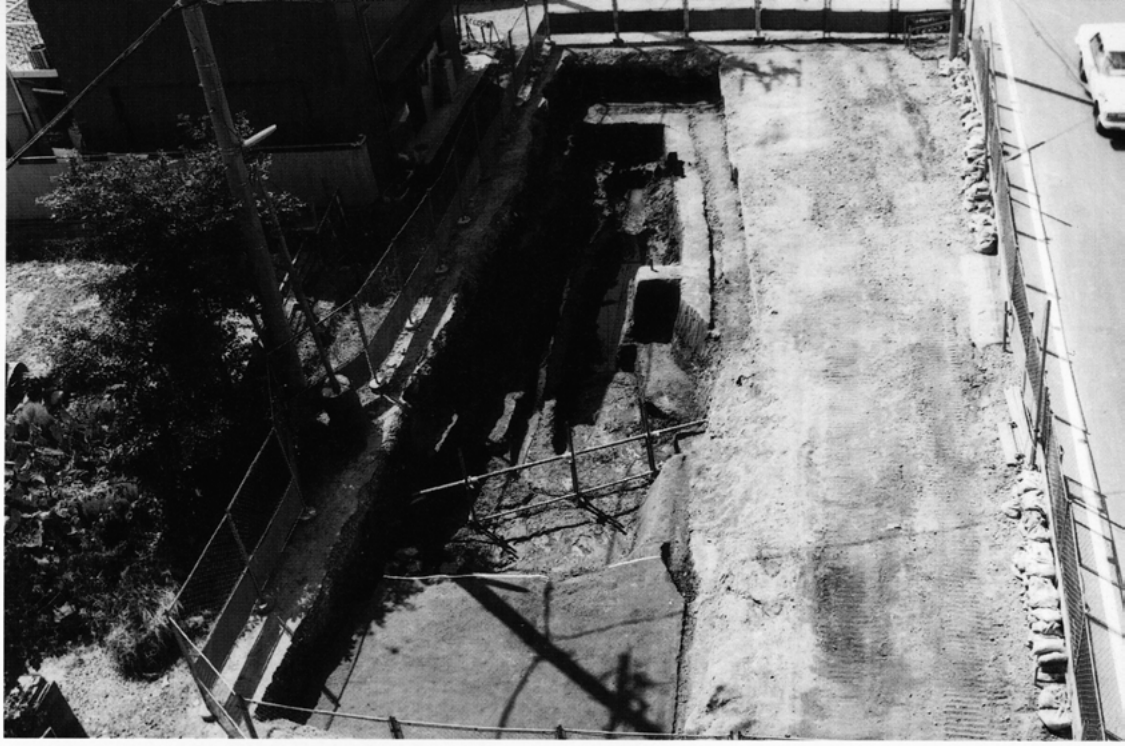
1　63A区
（東から）



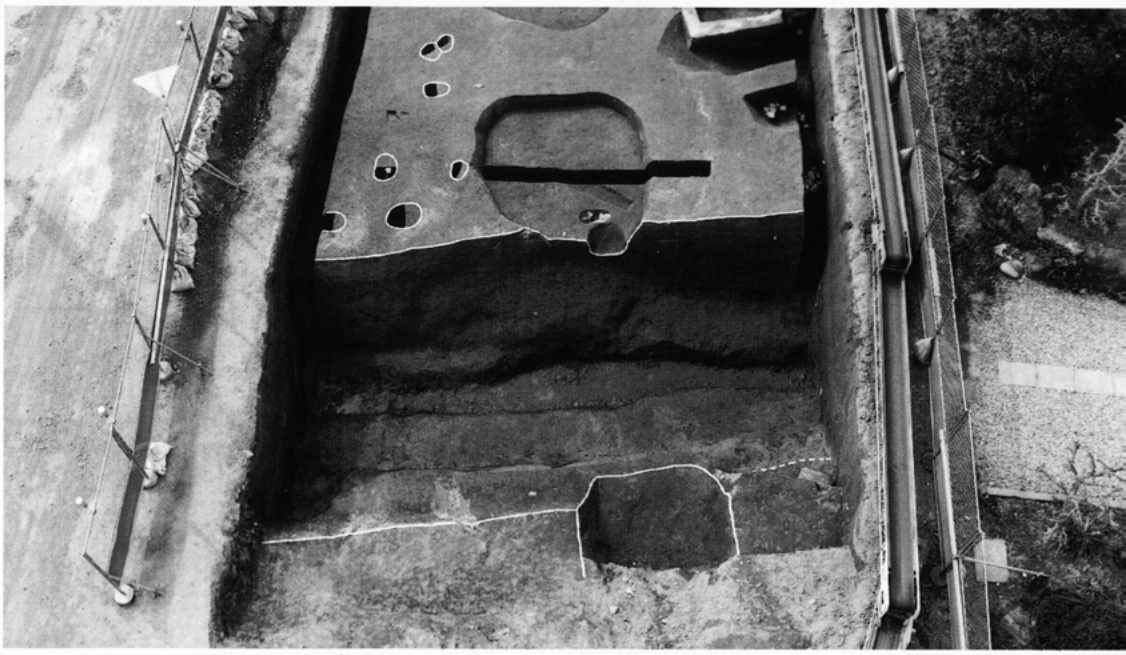
2　SD01
（西から）

3　SD01断面
（北から）

図版19
Ⅵ期の遺構(2)



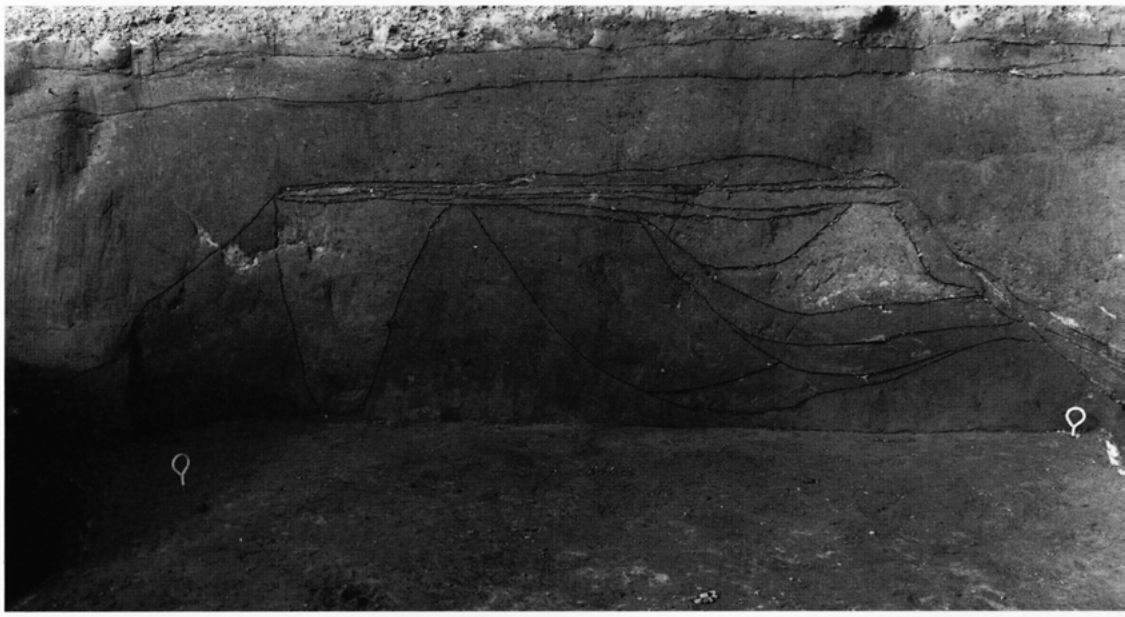
1　SD02
（東から）



2　SD03
（東から）

3　SD03断面
（北から）

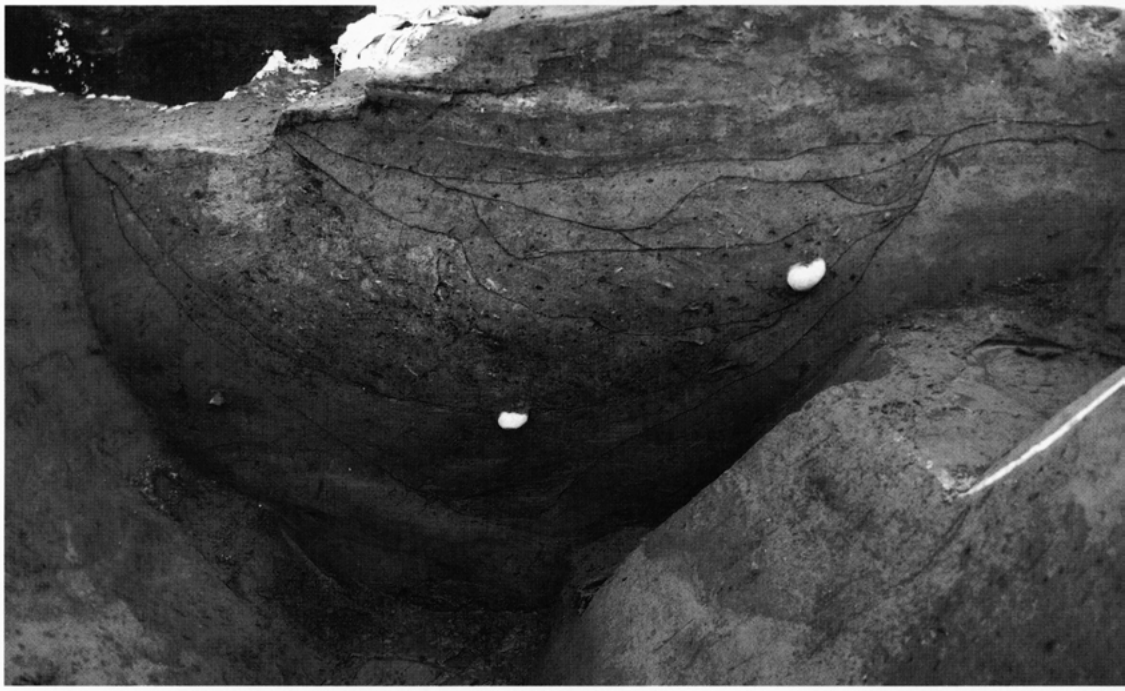
1　62A区全景
（西から）



2　土橋断面
（南から）

3　89A・B区全景
（上から）

1　SD06
（南から）



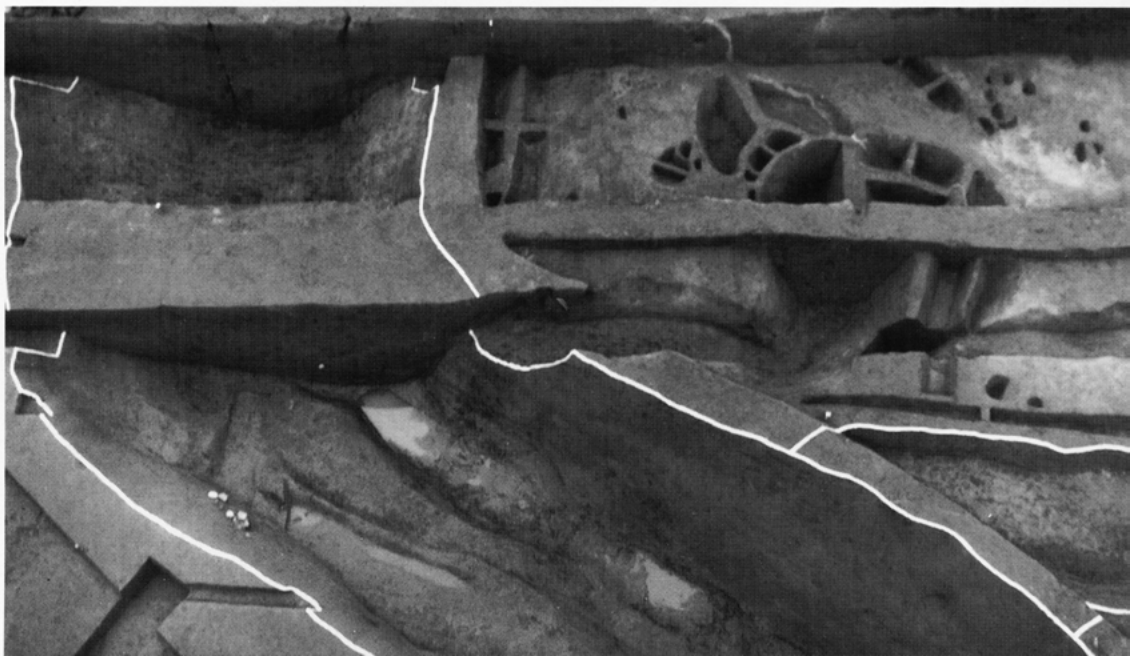
2　SD06断面
（北から）

3　SD07
（西から）

図版22
Ⅵ期の遺構(5)

1　SD08
（南から）

2　SD09
（西から）



3　SD10
（北から）

図版23
Ⅵ期の遺物出土状態

1　SD03遺物出土状態
（獅子頭、西から）

2　SD03遺物出土状態
（壺・皿、西から）

3　SD03遺物出土状態
（土師質皿、東から）

図版24
Ⅵ期の遺物出土状態

1　SD04遺物出土状態
（竹篭、北から）

2　SD05遺物出土状態
（西から）

3　SD05遺物出土状態
（南から）

図版25
Ⅵ期の遺物出土状態

1　SD05遺物出土状態
（南から）

2　SD06遺物出土状態
（東から）

3　SK03遺物出土状態
（北から）

図版26
II期の遺物(1)

132

95

83

135

89

86–87

88

図版27
II期の遺物(2)

113

112

108

115

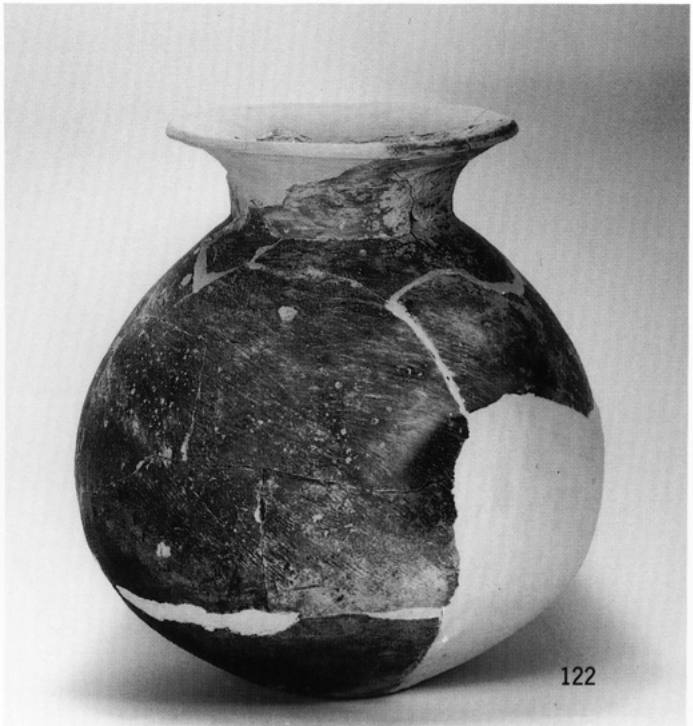
114

109

110

128

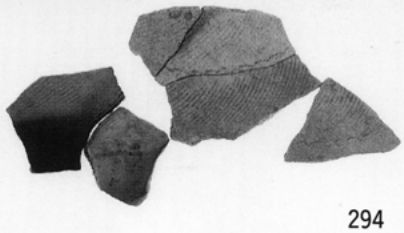
117


122

124

図版28
II期の遺物(3)

269


294

268

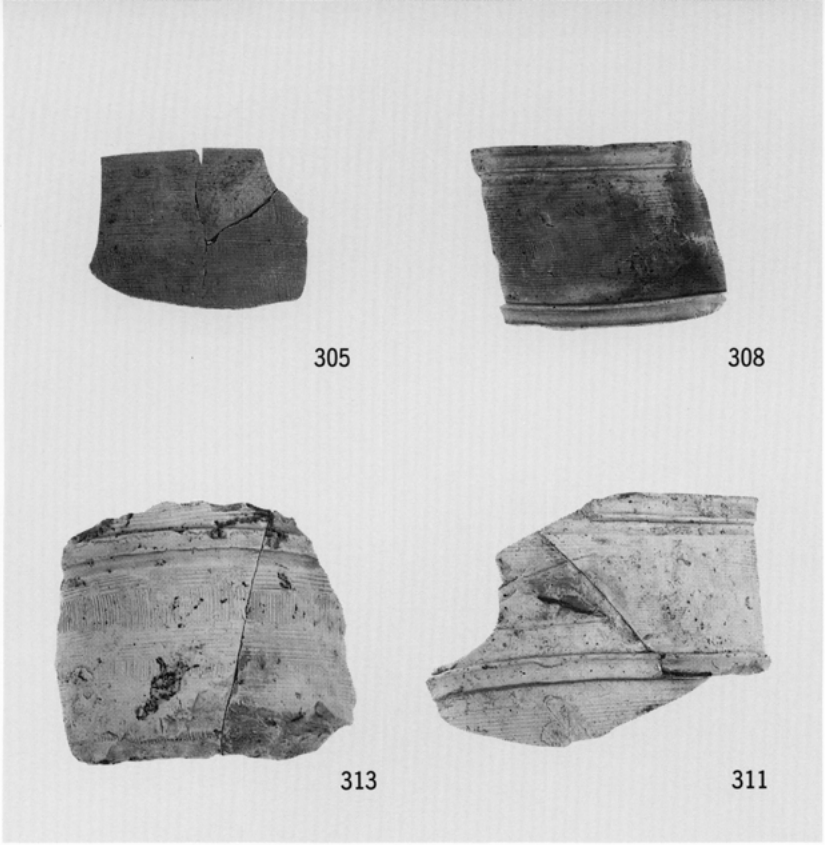
273

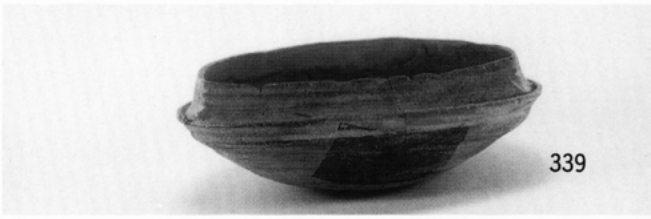
201

189

261

図版29
III期の遺物(1)



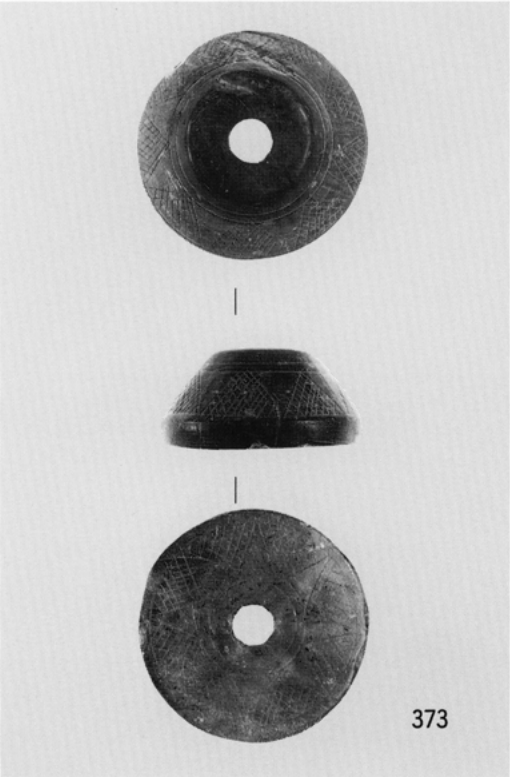


図版30
III期の遺物(2)

387

385

381


373

346

349

320

図版31
V期の遺物

398

401

408

413

415

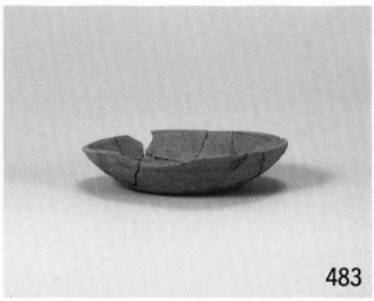
416

VI期の遺物(1)

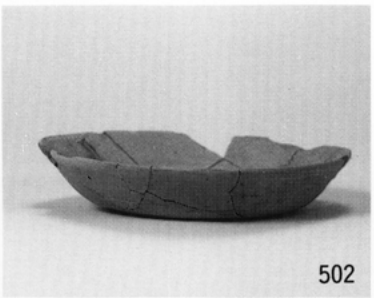
461

467

471


483

485


502

512

(SD03出土)

531

529

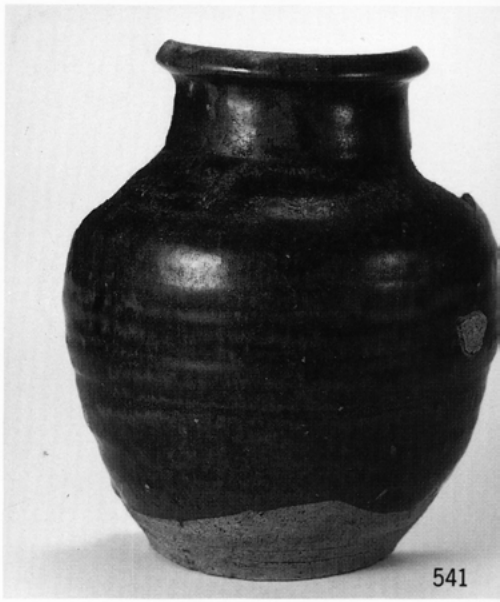
533

図版32
Ⅵ期の遺物(2)

538

540

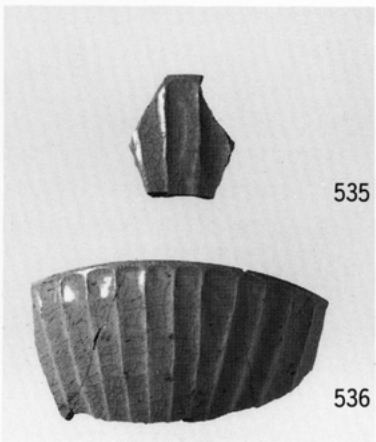
543


541

547

542

555


535
536

552

図版33
Ⅵ期の遺物(3)

563

564

568

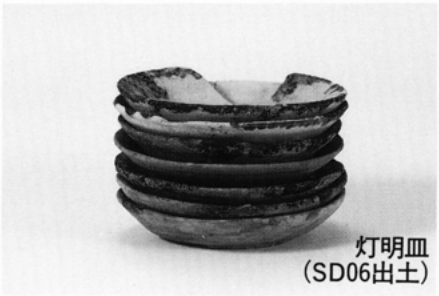
579

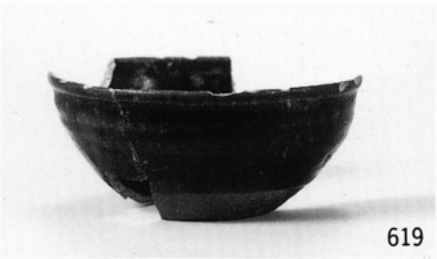
584

611

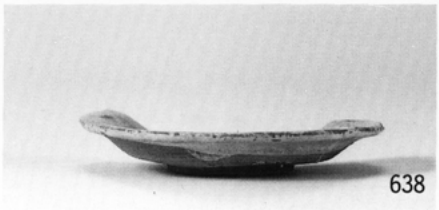
603

(SD06出土)


灯明皿
(SD06出土)

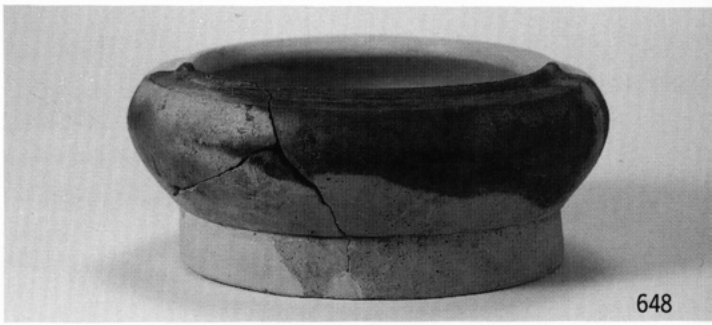

619

637


638

646

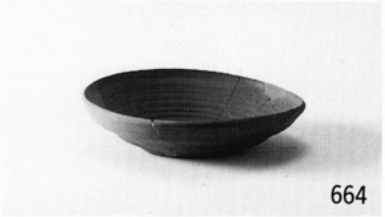
647


648

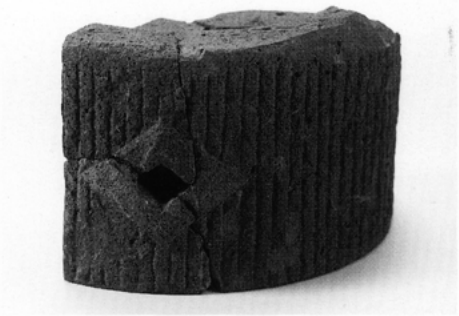
649

図版34
Ⅵ期の遺物(4)

654

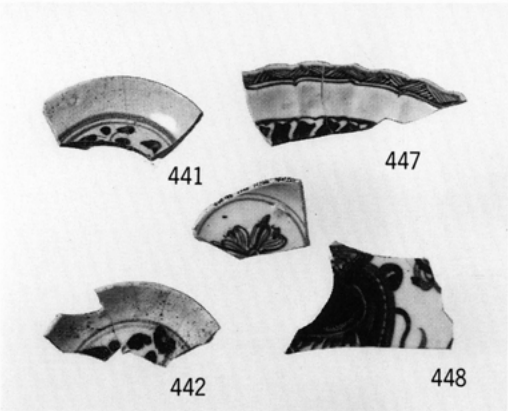

664

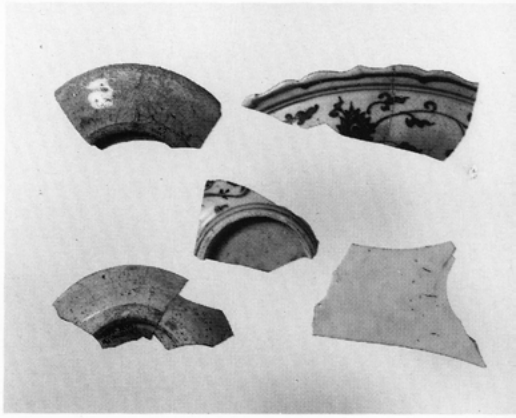
687

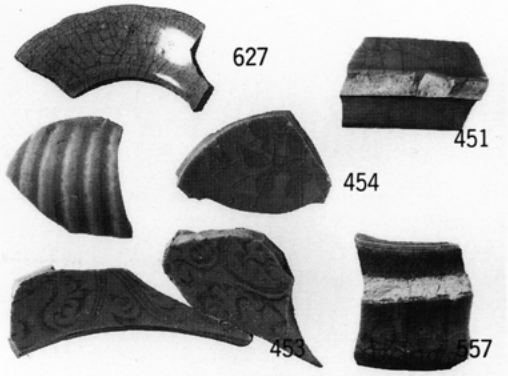

810

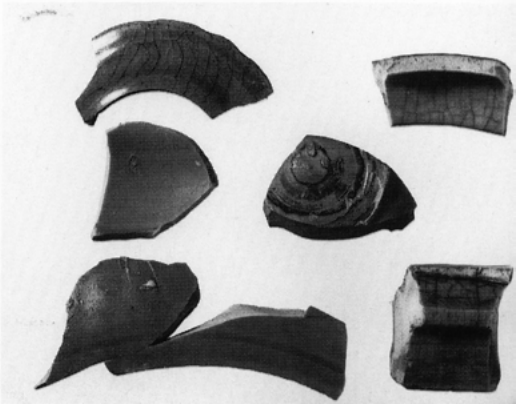
693

670







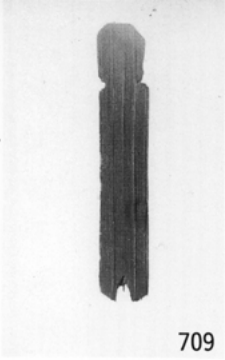


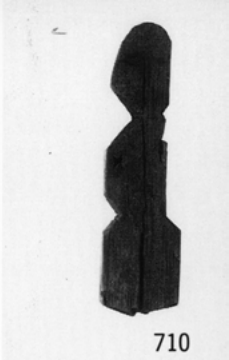
図版35
Ⅵ期の遺物(5)

706

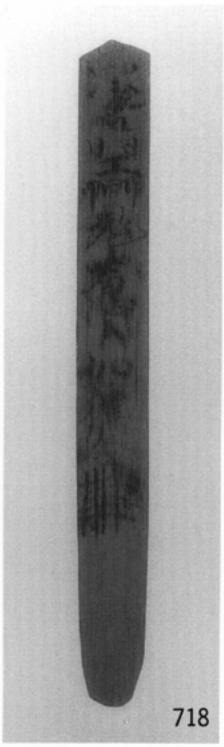
708

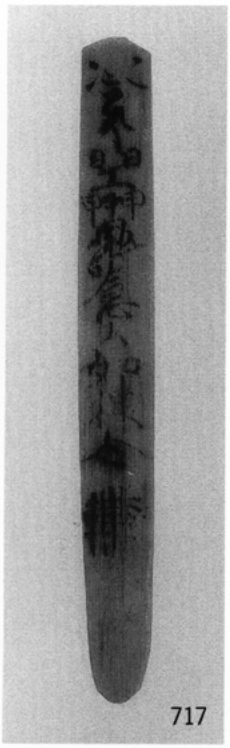
711

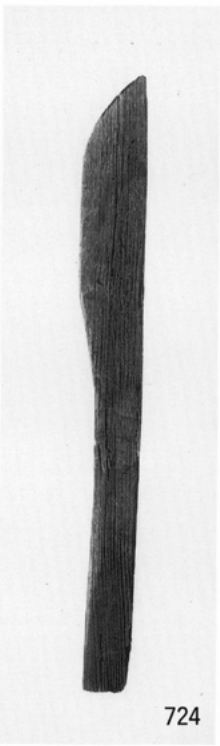

709

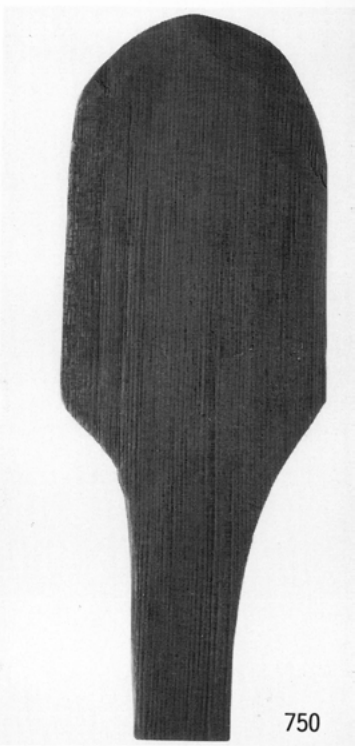

710

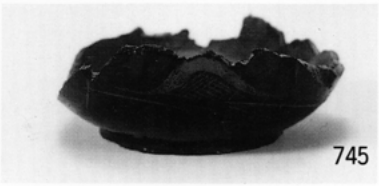
723

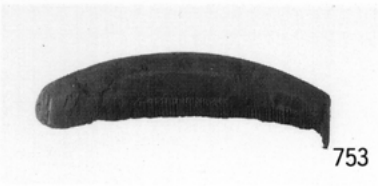

718

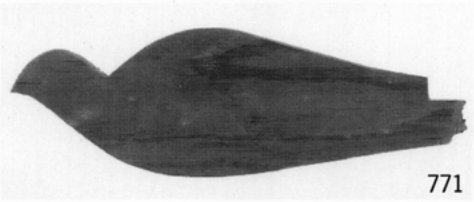

717


724

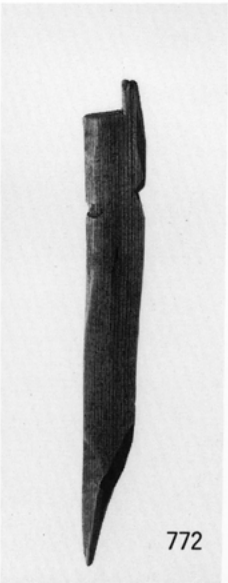

750


745


753

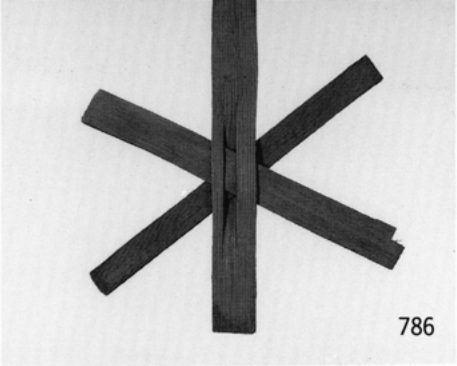

771

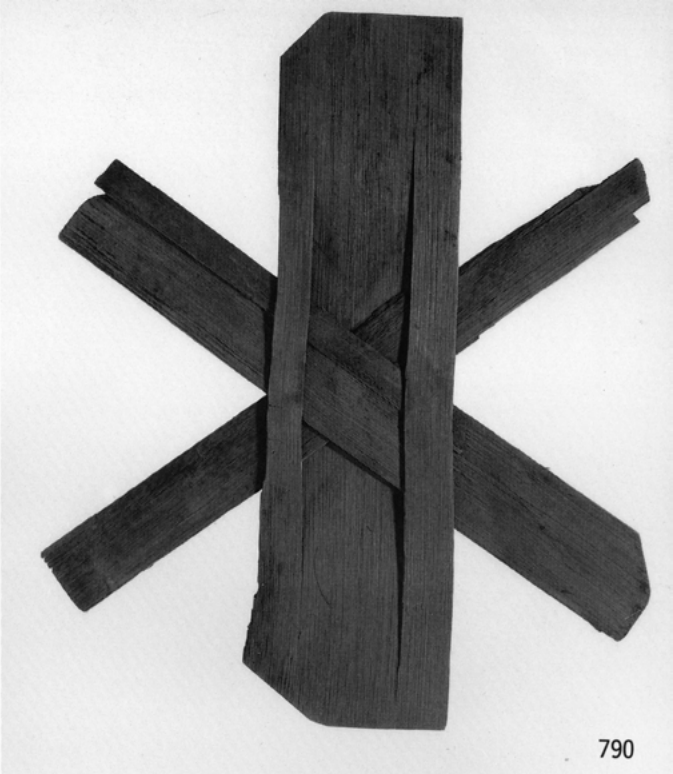
744

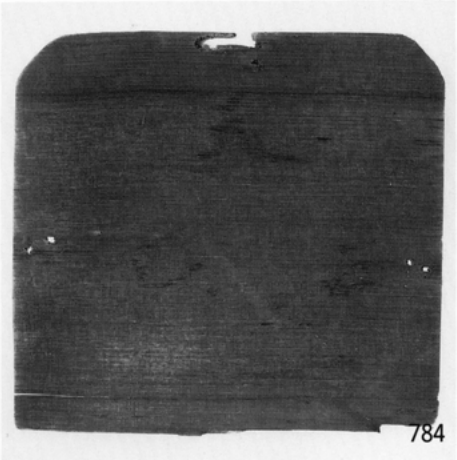

772

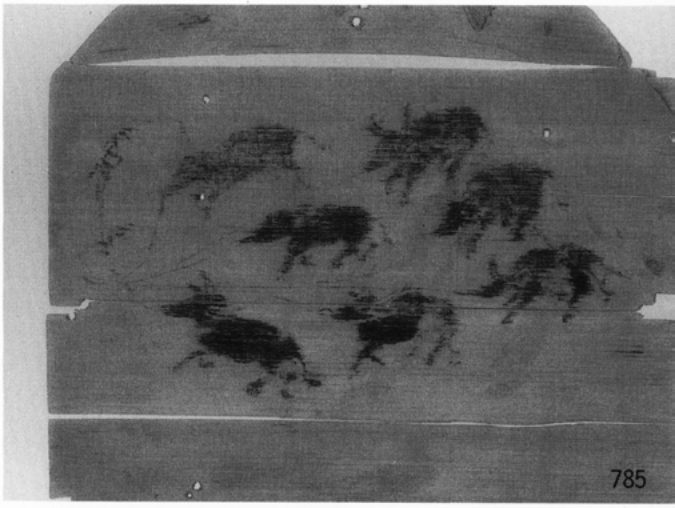
777

図版36
Ⅵ期の遺物(6)

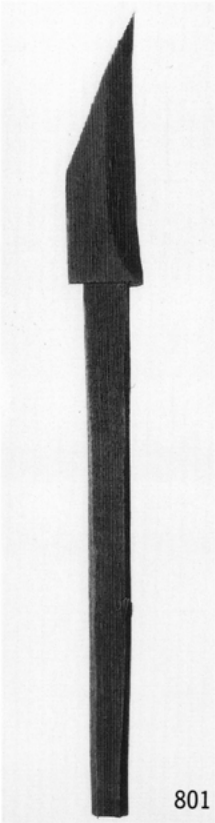

786


790


784


785

781


801

797

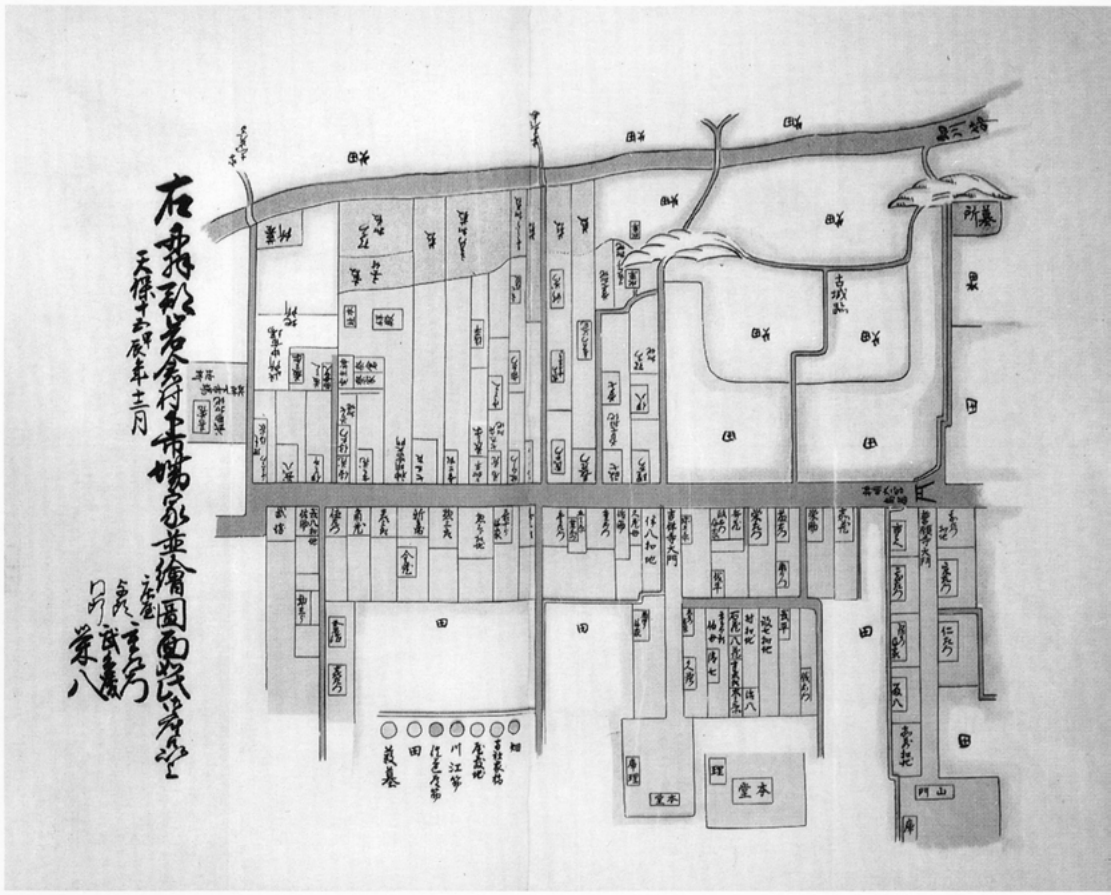
800

805

807

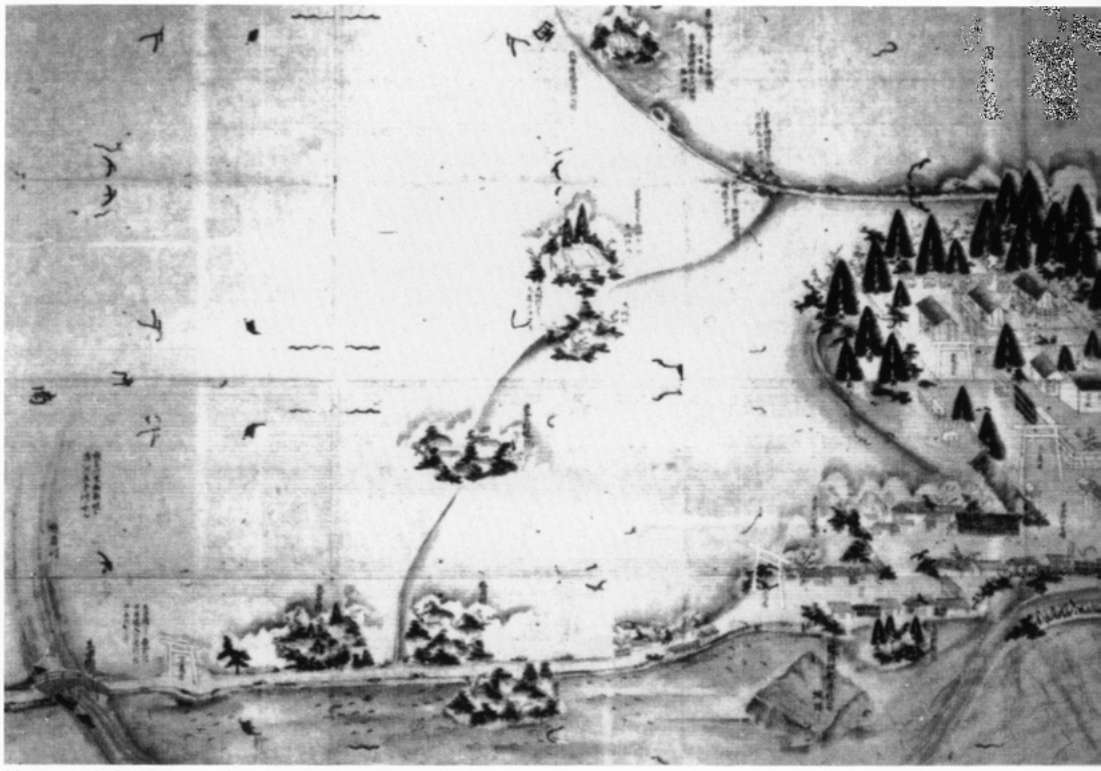
図版37　岩倉城跡関係絵図

神明太一宮鳥瞰図 1792年（『岩倉市史 資料１』より）

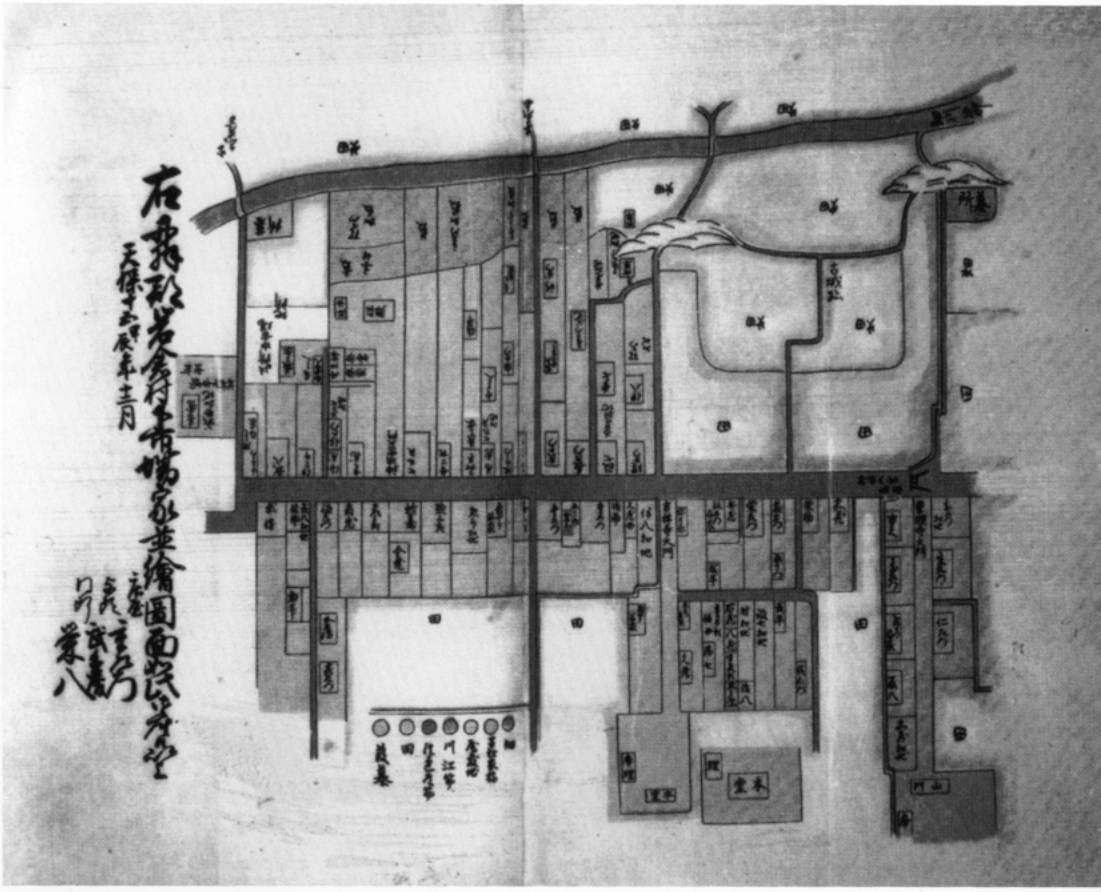


村村屋敷絵図 1844年（『岩倉市史 資料１』より）

図版37　岩倉城跡関係絵図



神明太一宮鳥瞰図 1792年（『岩倉市史 資料１』より）



村村屋敷絵図 1844年（『岩倉市史 資料１』より）

(財)愛知県埋蔵文化財センター調査報告書　第38集

岩　倉　城　遺　跡

1992年３月31日

編集・発行　財団法人愛知県埋蔵文化財センター

印　　刷　日本印刷株式会社